

建築士

おおた



2002 NO.83

士 楽 敷

式 試 試

会 員 増 強 に ご 協 力 を !

~ 会 員 二 人 で、一 人 の 入 会 勧 誘 を ~
目 標 3,000 人 突 破



社 団 法 人 大 分 県 建 築 士 会

CONTENTS

1. 巻頭言	副会長 瀬口 雅之
2. 表彰	日田支部 野木誠一郎 大分支部 高橋 文洋 佐賀関支部 高木 次男
3. 第44回建築士会全国大会宮城大会に参加して	佐賀関支部 渡辺 豊基
4. サマーセミナー in 別府	別府支部 渡辺 誠司
9. ホームページを見よう	臼杵支部 佐伯支部 中津支部 大分支部
10. ナショナルトラスト全国大会in臼杵	臼杵支部 大戸 真一
12. 第16回豊の国木造建築賞	
14. 第13回まちづくり塾「田村明の実践まちづくり塾」参加レポート	大分支部 穴井 輔嘉
20. 建築業務とCAD その2	大分支部 江藤 邦雄
22. わたしの建築 (My Work)	大分支部 臼杵支部 佐賀関支部
24. 舌検隊パート 第2回	大分支部 宮崎 敏信
26. 会員紹介 PERSONAL INFLUENCE	別府支部 津久見支部 佐伯支部
27. インフォメーション	
~ 大分支部 ~	長野 保幸
~ 日田支部 ~	原田 裕史・鈴木 孝幸
~ 津久見支部 ~	濱野 一明
~ 佐伯支部 ~	小川 稔浩
~ 竹田支部 ~	志賀 克洋
~ 三重支部 ~	川崎 秀二
~ 玖珠支部 ~	尾方 秀則
~ 中津支部 ~	安部 邦弘
~ 別府支部 ~	渡辺 誠司
41. シリーズ登録文化財 No.6 京大温研	別府支部 渡辺 誠司
42. 登録有形文化財一覧	
44. 変わる建築士制度	大分支部 笠木 忠昭
46. 行政だより	大分県建築住宅課
48. 事務局だより	事務局
50. 平成13年1級・2級建築士試験合格発表	事務局
50. 新会員紹介	事務局
51. 編集後記	

表紙説明

名称	県営99-MW-1(県営住宅)
竣工日	平成13年2月
設計者	東九州設計工務株式会社
施工者	小代築炉工業株式会社
受賞名	大分県土木建築部長表彰
建築場所	津久見市大字千怒
構造・規模	木造3階建
住戸数	18
面積	延 1,263.00m ²
1住戸	2LDK・ベランダ付





巻頭言

「年頭所感」

副会長 瀬口 雅之

平成14年の新しい年を迎え新春のお慶びを申し上げます。
会員の皆様方のご繁栄とご多幸をお祈り申し上げ本年も昨年と同様、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

昨年を振り返りますと、溜め息の出るような本当に大変な年でありました。国内では平成の大不況と申しますが、景気の動向は上向きに転ずる事がなく、政府もIT産業に活路を見いだそうと力を入れてはみましたが、一時は上昇の兆しも見えかけたものの早くも下降をたどりはじめて先行き不透明な状況下になりつつあります。

その為、不況の波が更に押し寄せリストラや失業率増加の文字が新聞紙上を賑わし、小泉新政権に対する国民の何とかこの不況を緩和してほしいという切なる期待にも拘わらず、構造改革は遅々として進まないまま半年経ってもまだ中々出口の見えない状況のようです。従って国民の不況感は益々増大し、住宅着工件数の減少に伴い私共建設業に携わる者としましても大変厳しく、これが倒産やリストラ等により会員の退会につながっているのではないのでしょうか。

一方国外に目を転じますと、9月に米国同時多発テロによるニューヨークでの世界貿易センタービル破壊では数千人の犠牲者が出るという前代未聞の出来事が発生いたしました。まるで映画の一場面のような高層ビルの倒壊を目の当たりにして、全く言葉を失いました。これにより、唯一世界経済を支えていたアメリカまでが失速状態に落ち込み、米国に頼らざるを得ない日本にとってはまさにダブルパンチとなってしまいました。

新年早々暗い話が続いてしまいましたが、明るい話題として米大リーグにおけるイチロー、新庄、佐々木、野茂等の日本選手の活躍は目を見張るものがあり、暗い中での一服の清涼剤となり元気づけられました。

また10月に宮城県で行われました全国大会では、大分と大変ご縁のあります岩手県の建築士会との5回目の交流会に参加させて頂き、大分と岩手のつながりや共通点を村松顧問が非常に詳しく紹介して下さい出席者同士がなごやかに交歓する事が出来ました。参加されました皆様方に心からお礼申し上げます。

さて今年は建築士会創立50周年の記念すべき年であります。昨年より事業委員会を中心にスタートし、各支部でそれぞれ企画立案が出来つつありますので、予算は厳しいのですが、せめて気持ちだけでも不景気を吹き飛ばすような内容のある式典が行なわれればと期待をしております。

表彰おめでとうございます

日本建築士会 連合会長表彰



野木 誠一郎

岩瀬会長より理事会にて大分県建築士会として『野木日田支部長を表彰に推薦します。』と発表された時は正直ビックリしました。理事10年の実績だそうです。これも士会本部、日田支部会員様の熱意で行動した実績を支部会員を代表して頂いたものと深く感謝し、心よりお礼申し上げます。授賞式には副支部長の養父様ご夫妻、藤原様と私共夫婦で出席し、2泊3日の思い出となりました。又岩手支部との交流会もあり素晴らしい宮城大会でした。今後も士会発展の為努力させていただきます。



高橋 文洋

図らずも、先の宮城県での全国大会で日本建築士会連合会長表彰を受賞致しました。これもひとえに士会全員の皆さまのお陰だと深く感謝申し上げます。思えば、県青年部会の立ち上げやソフトボール大会、熊本での全国大会等々感慨深いものがあります。

しかしながら、ここの所は仕事の関係で士会の活動に大してお役に立ってなく心苦しい限りであります。建設業界は最も苦しい局面に立たされておりますが、会員の皆様のご健勝をお祈りし、お礼に代えさせていただきます。

日本建築士会 伝統的技能者表彰



高木 次男

今回、伝統的技能表彰を受賞できましたことは、ひとえに皆様方のお陰であると、深く感謝いたします。

これまでに、神社、寺等多くの木造建築を手がけてきましたが、この受賞を期に、益々の努力と、精進を重ね、建築士会及び支部の発展に努力していく所存ですので、よろしく願いいたします。

第44回

建築士会全国大会 宮城大会に参加して

佐賀 関支部 渡辺 豊基

去る10月5日に、宮城県仙台市で表記の大会に九州ブロック代表発表者として参加しました。

我が支部は「フォーラム 大海へのりだす建築士の挑戦」の分科会Cに属し、「広げよう、福祉のネットワーク」というテーマを基に北海道士会十勝支部の山岸さんと当支部の2支部発表とゲストパネリストによるパネルディスカッションを行いました。

このような大舞台での発表は久しぶりだったので、実は開会式から心臓はバクバクし、額からは冷や汗たらの状態でありまして、我ながら小心者だと実感したのです。

でも、今永青年部長と関支部から2名また、臼杵支部他4名の応援団がいたので内心ホッと...

発表の合間にジョークとアドリブを入れながら会場の雰囲気をつかむことができ、気持ちのよい発表ができました。

鹿児島大会での発表内容に対する、審査コメントやみなさまからのご提案を取り入れ、まじめな部分では涙をそそり、笑える部分では爆笑をとり、制限時間ジャストに終えたことに、内心ほっとしています。この発表までに、御協力をいただいた方に、心より感謝をいたします。

また、連合会より「実践活動奨励賞」を頂きましたことを報告します。



表彰式の様子。
ここまでは、めっちゃマジメでした。

さて、小生は関東以北に旅行するのは初めてで、仙台の街に遙か思いを馳せていました。

杜の都「仙台」は思い描いた以上の街並みでした。一瞬、こんな街に住みたいと感じたのです。

街並みにゆとりが感じられ、水豊かな広瀬川や、森のような街路、三陸沖からの新鮮な鮮魚、東北の銘酒など数えたらきりが無いほど...

たった3日間の仙台滞在期間では堪能できるわけではなく、再度訪れてじっくりと杜の都を攻略したいと思います。



「長野士会と交流会。もうレロレロ...」

小生の旅行にとってエピソードは付き物。そこで、ほんの一部紹介します.....。

繁華街に繰り出し、まずは腹ごしらえ。もどりカツオのたたき、ご当地名物「牛たん」などを注文し、まずは生ビール一杯。とここまではノーマルな飲み方ですね。

ここからが関支部の凄いところ。店のおねーさんに「焼酎くりーや」と注文すると「大分の「いいちこ」があります。」との返事。

「バーカゆうたもんじゃねー。わしらは大分もんじゃ。仙台まできち、いいちこじゃおもしろねーけん、東北の酒くりーや。」となってしまう、店のねーさんからメニューを見せてもらい、何種類もあるので、「どれがうめーんかい、」との問いに、ねーさんはタジタジ...エーイいろいろ考えんで、端から順番に持ちこて。ねーさん、啞然.....。

とそれから飲んだ銘酒、十数銘柄。結局どれがおいしい酒かは区別がつかず、最初一杯しか酒の味は覚えていない状況であった。

ほんと、こげーあんのよ。関支部は、.....。

この話を支部のみなさんに報告したら、即答「青年部長のおまえがそげーあるんじゃ」.....。

以後反省します。

癒しん街別府へ、きちみらんかい！ 「昭和情緒と人情の町別府」

第15回 サマーセミナーin別府

「2巡目のサマーセミナーじゃな～。さ～て今度はどげんかたちで出迎えるかな!?」ということで早速実行委員会を立ち上げる。前回は城島の山の中、「出来たら今回は、すぐに飲みに行く街がいいな。」「スパビーチでキャンプがいい。」とか等々何案か出たものの、昨今の路地裏散策ブームに乗っ取り、スムーズに「別府の古き良き時代をクローズアップする路線」に決まった。

大きく分けて3つの催し物を考えたので各セッションごとについて紹介します。

<エキスカーション>

(竹瓦界限路地裏散策)

あいにくの雨模様となったが、各支部より多数の参加がありA、B2班に分かれて中央公民館前を案内人(平野氏・菅氏・吉田氏)の協力により無事出発。

(別府市中央公民館：移動時間なし)

・吉田鉄郎氏の設計。鉄筋コンクリート造としては、県下に現存する建物の中では最も古い。

スウェーデン、ストックホルム舎を模している。



(千辛万苦之場)

・江戸時代末期、井上かおる氏が温泉治療のため滞っていた建物。(井上かおる：明治時代の政治家：長州藩士出身)

(田の湯館：民宿)

・明治44年に建てられた洋風木造別荘で、現在は民宿として現役。道路拡幅による解体の危機有り！



田の湯館

(田の湯温泉)

・田んぼの中に湯が沸いたところにより由来。現建物は建て替えられたもの。

(別府駅高架下商店街)

・全長220m 全34店舗

(不老泉)

・大正時代、木造3階洋風建築であったが、現在は鉄筋コンクリート造

(亀の井ホテル)

・大正13年、吉田初三郎氏制作による別府鳥瞰図見学当時別府港より水上飛行機が別府～大阪間を片道25円で飛行していた。



亀の井ホテルロビーにて

(旧秋葉通り)

・別府石を使用した石塀を見る。

(旧秋葉温泉跡地)

(秋葉神社)

(坂本長平商店)

- ・明治43年創業。手作り味噌を昔ながらの計り売りで販売。試食のもろきゅうは絶品！



(紙屋温泉)

- ・明治初期からの共同温泉。飲泉をいただいた！

(友永パン屋)

- ・大正5年創業の老舗のパン屋。当時流行の看板建築を現在も残す。



(別府児童館：レンガホール)

- ・吉田鉄郎氏による設計。旧別府市役所。現在は別府児童館として利用されている。



(中浜地藏尊)

- ・水害を鎮める神様。路地の曲線が当時の海岸線の名残を残す。

(楠温泉)

- ・井上かおる氏が温泉治療をしたところ。

(平野写真館)

- ・古き良き時代の別府の写真や資料を展示するギャラリーで今回のガイド役である平野氏がオーナー。

(竹瓦温泉)

- ・別府の超シンボリックな共同温泉。明治12年建造、現在の建物は昭和12年に改築された。



教会内部にて

(海の星幼稚園)

- ・昭和25年建造。フランスルルドー地方の教会を模している。



(松下金物店)

- ・昭和4年の看板建築



(別府市中央公民館)

・大変お疲れ様でした。

約3時間程の散策であったが、私達別府人でも知らない穴場のスポットが数多く有り、別府の古き良き時代を想いめぐらせてもらいました。

記録係：衛藤三使・森田清一

< 基調講演 >

今回の基調講演は、「建築士会会員だけでなく、多くの人に聴いてもらおうじゃないか！」という事で、事前に大学や公民館にピラを配り、新聞の記事に取り上げてもらうなど聴講者の増員を試みた。

「癒しのための街づくり」は主題に合致した、別府に住む者・関係する者にとっては大変興味深いものであった。

また、基調講演と式典の間の休憩時間には、平野淳子(別府出身のピアニスト)さんによるピアノ演奏があり、大変和んだ雰囲気となりました。

(一般聴講者は、この時間を利用して入場。)

講師：村松幸彦氏による講演開始。

略 歴

- ・大分住宅研究室長、大分県建築士会顧問
- ・生年月日：大正11年3月23日 別府市出身
- ・昭和19年 大分工業高校教諭着任
- ・昭和56年 退 職



前半は、温泉宿：別府の歴史や迎え入れる側の心構えや有り方について、後半はスライドを利用したの講演であった。文化遺産価値のある建物の現状や、今後の展開について熱弁され、あっという間に時間は過ぎていった。特に浜田温泉の時は、建築に至る背景や存在価値を聞き、大変有意義な時間を持てたと実感しました。(一般市民の方も、何度も何度も大きくなついていたのを忘れない。)

(浜田温泉)

昭和10年、石垣村・朝日村・亀川町が別府市と合併する際、「亀川町の象徴となるものを造ろうじゃないか！」という総意のもと、建築された。

最後に、基調講演についてのアンケートの一部を紹介します。

- ・松村先生の80歳とは思えない話し振りに感動した。
- ・80歳にしてはとても元気。自分も村松さんのおじいさんになりたいです。



式典にて支部長挨拶



平野淳子ソロ演奏

総括担当：渡辺 誠司

< スタッフも楽しめた交流会 >

サマーセミナーのメイン交流会は、別府のど真ん中ヒットパレードクラブ。平野トリオのジャズ演奏、専属バンドによるオールディーズの演奏でオープニングしました。とても懐かしく聴く若かった人、新鮮なミュージックとして聴いている若者、様々な表情がとても印象的でした。

会場のテーブルはどこも賑やかに話が弾み、大きな笑い声が飛び交っていました。準備をしてきたスタッフも十分に楽しんでいましたようです。



テーブルが足りない、飲み物が足りない、スタッフは大慌てで調達に走り回っていたようです。町並み散策にご協力いただいた竹瓦倶楽部の皆さんも、「こんな事は初めて、床が落ちないか心配だった」と言うほどの盛況でした。「流し」のぶんちゃん・はっちゃんの若々しい歌声にはびっくりしました。(お二人とも70歳を超えている)

交流会の延長で会場は大盛り上がり。本当は竹瓦倶楽部の皆さんに、懐かしい別府の話を膝を交えてしていただく予定で準備をしていたのですが、とても話をゆっくり聴くどころでなく、結局竹瓦倶楽部の皆さんにはテーブルに加わっていただくことになりました。



会場を移しての夜なべ談義は、ヒットパレードクラブのまん前の竹瓦温泉2階の広間。果たして何人が参加してくれるのかと、心配で準備をしてきたスタッフもびっくりするほど大勢が竹瓦温泉2階へと向かっている。



私も学生時代の後輩と思わず30年ぶりに再会し、思い出話を楽しみました。彼女は現在、女性部会で活躍している事も初めて知りました。そんな話があちらこちらでされていたことでしょう。



「癒し・人情の街別府を広く紹介し、開催地スタッフも共に楽しめるサマーセミナーにしよう」という思いで準備をしてきたサマーセミナーでしたが、準備をする中で別府をこよなく愛し様々な取り組みをしている竹瓦倶楽部の皆さん、別府を地盤に活躍している平野トリオの皆さん、別府の文化遺産を広く紹介し保存に取り組んでおられる松村氏など、あらためて別府を知るきっかけになったような気がします。

我々建築に携わるものは、これまでものを造ることばかりに専念してきたように思います。ものを育み護っていくそんな視点も重要な時代になっているのではないかと考えさせられました。

私にとっては、非常に刺激を受けたサマーセミナーとなりました。ご協力をいただきました各支部の皆さん、そして別府で頑張っておられる皆さんに御礼を申し上げます。

総務・広報担当 右田 恭一



See You Again !



ホームページ を見よう



私達を取り巻くIT革命の波は、想像を絶するスピードで進行しています。電子入札システム、磁器ディスクによる確認申請書、電子アルバム、書類（図面）の電子納品化等、次々に新しい電子化がやって来ます。

ホームページを作成している会員もまだまだです。時代に乗り遅れないようにホームページを作成し情報発信を活発にしましょう。

佐伯支部 <http://sikai-saiki.hoops.ne.jp/>



大分支部のHPは、今のところ他の支部にくらべて大変遅れています。これから勉強して早く追いつきたいと思えます！今年までに更新に更新をつづけて、はずかしくないHPをつくらうと思えます。只今、頑張ってますので内容も充実して早く皆さんに追いつくよう努力します。

少し他支部をパクってますが、ごめんなさいです。

大分支部青年部長 姫野

<http://www.oitanc.com/kentikusikai/oitashibu/top/oita/html>



全国の建築士会各支部に先駆けてホームページを開設した白杵支部です。その後数年経ち、県内でも佐伯・中津・大分と各支部が魅力的なHPを開いています。他の支部の方も頑張ってください。

当面の問題は、少ない記事の更新をいかにこまめにするか、と掲示板がどうやったら賑わうか。

というところです。

白杵支部 http://www.bungo.or.jp/usk_shikai/



中津支部のHPは、分かりやすく親しみやすいページを目指して、準備委員の分担作業で作りました。まだ未熟な部分もありますが、情報発信元としての役割りを果たすため、まめに更新したいと思っています。

会員の自己紹介ページは必見です。

<http://www6.ocn.ne.jp/~ken-kai/sikai/top/>

ナショナルトラスト全国大会 in臼杵

臼杵支部

歴史遺産と自然環境の共生をテーマに第19回ナショナルトラスト全国大会in臼杵が10月19、21日までの3日間、臼杵中央公民館を主会場に開催されました。

この大会は各地で根をおろし、それぞれの風土にあった環境保全活動を行っている団体を支援している「社団法人日本ナショナルトラスト協会」と、臼杵のまちづくり団体「臼杵デザイン会議」の共催、「大分県建築士会 臼杵支部」の協力で開催されたものです。

大会では全国から170名の方々が集まり、市民や子供たちをまきこんで「臼杵型トラストの実現にむけて」をサブテーマに、臼杵の歴史的町並みや自然環境を守り育てるにはどのようにしたらいいのか、臼杵らしい取り組み方法はどのようなものか等を中心に話し合われました。以下3日間の模様を紹介します。

1. 臼杵現地視察会（10/19：1日目）

臼杵石仏を中心に里山と歴史遺産のかかわりについて見学。その後「的場ヶ浜干潟」で干潟の保存運動の成果とそのすばらしさを説明。河口干潟全体の保全とラムサール条約登録の可能性にも言及。最終地は津久見島の原生林を見学。

2. ワークショップ（10/20：2日目）

6つのテーマに分かれて開催されました。

日本におけるナショナルトラスト運動の役割
歴史遺産と自然環境の調和したまちづくり
水環境の保全
臼杵型トラストを探ろう
アジアのナショナルトラスト
子供と市民の環境講座



この中のひとつ、「臼杵型トラストを探ろう」では武家屋敷を修復した竹内邸で開催され、購入経路から再生までの苦労、打ち明け話が家主の奥様と再生にかかわった棟梁から説明されました。再生する技術や後継者の問題等多岐にわたる問題点が話し合われました。

3. シンポジウム「歴史遺産と自然環境の共生」 (10/20:2日目)

佐賀大学の三島伸雄助教授を司会に進士五十八氏(東京農大大学長)、中谷健太郎氏(湯布院亀の井別荘)、岡田文淑氏(元内子町役場)、三原久徳氏(臼杵デザイン会議)で議論されました。

中谷氏「うすきらしさ」という短い言葉の真意は、施主の考えと、その土地にすんでいる、伝わっている技術者というものの考えを大事なものとして認めようじゃないかという地域の知恵ではないだろうか。



4. 記念鼎談「まちまもりとまちのこし」 (10/21:3日目)

映画監督 大林宣彦氏を囲んで、後藤國利臼杵市長、木原啓吉千葉大名誉教授による鼎談が行われました。大林監督は、「臼杵の町にて、本当に背筋が伸び、穏やかな顔つきで自然に寄り添って賢く、一生懸命汗を出して生きながら自然からご褒美をもらう人々の正気の顔を見ていると、今世界の政治は少し狂気に走って

いるのではないだろうか」とはなしていました。

5. ワークショップ全大会「臼杵型トラストを探ろう」 (10/21:3日目)

第6分科会の内容報告が行われ「歴史環境と自然遺産が一体となった新しい臼杵型のトラスト運動を信念をもって進めよう」とまとめられ、「子供と市民の環境講座」に参加した市内の市浜小学校の児童による「臼杵の未来は僕らの未来」の力強い合唱で大会のすべてを終了しました。

6. 総括(大会を終えて)

九州で初めてのナショナルトラスト全国大会の様態を簡単に紹介しました。ナショナルトラスト運動は住民が住民のために、住民が誇りとする自然と歴史遺産を大切にしていこうという自主的な運動です。臼杵は自然環境と歴史遺産を住民が守り育ててきたまちとして全国的に高く評価されるようになりました。しかし高速道路が開通し、たくさんのおとずれようになり、まちが再生されてくるにつれていままでも塀や生垣で隠れていた部分、他人がはいっていけなかった中庭等、隠されていたあいまいな空間が表に出されることによってまちの「奥ゆかしさ、深さ」が失われつつあります。まちを後世に伝えていくためにはこれから先どうしたらいいのか、地域を守る、育てていくという思想とともにこれから考え続けていかなければならない課題だとおもいます。

第19回ナショナルトラスト全国大会in臼杵
実行副委員長・大分県建築士会臼杵支部

大戸 真一



第16回

豊の国木造建築賞



最優秀賞

(久住町白丹交流センター)

(有) 山口隆史設計室

作品のポイント

地元住民との基本コンセプト等についての話し合いや、共同作業により、少子、高齢化に対応した新しい交流センターが建設された。大規模なソーラーシステムの利用と大きめの暖炉は冬暖かく、なごみが感じられる。交流センターの至る所でバリアフリーがなされており、安心して利用できる施設である。



優秀賞

(野津町安部邸)

(株) 大分住宅研究室

作品のポイント

100年経った母屋を増築再生した二世帯住宅。野津の町並みを考慮して表のデザインは変えずに、堀と車庫を違和感無く設置。床はバリアフリーに改修し、できる限り古材を活用することで、木の素材を生かした意匠である。2階の床を撤去し、吹き抜けとすることで明るく開放的な客間に改築されている。



優秀賞

(緒方町羽田邸)

川野雄二住宅設計室

作品のポイント

主要部材に江戸時代、明治時代の民家の柱・梁を再生利用し、自然の柿渋を塗装に使用。韓国の釜山で焼いたレンガを用いた外壁は周囲の田園風景と美しく調和している。床下には、炭を敷き詰め、炭を焼いたときに生じる木酢液を白蟻駆除の代わりに土台廻りに塗布することで、人に優しい家としている。

第16回「豊の国木造建築賞」受賞者

賞	建築主	建物所在地	用途	設計者	施工者
最優秀賞	久住町長 衛藤 龍天	久住町	公民館・温泉館	(有)山口隆史設計室 (代)山口 隆史 大分市長浜町1-7-3-608 TEL097-534-9177	(株)松井組 (代)松井 宏一 竹田市大字拜田原188番地 TEL0974-63-3245
優秀賞	安部 真彦	野津町	住宅	(株)大分住宅研究室 (代)芳山 憲祐 大分市錦町3丁目8-1 TEL097-532-1885	高本建設(株) (代)高本 幸男 大分市萩原2丁目13-38 TEL097-552-1585
	羽田 三郎	緒方町	住宅	川野雄二住宅設計室 川野 雄二 大分市上野丘西23-14 TEL097-546-6594	三重野工務店 三重野明良 大分市松が丘1-9 TEL097-542-2032
協賛賞	田染 靖征 (大分県建築士会)	豊後高田市	住宅	(株)安藤剛設計室 (代)安藤 剛 豊後高田市大字界633-2 TEL0978-24-3600	佐々木建設(株) (代)佐々木啓介 徳野建築 徳野 茂治 豊後高田市大字来縄2870 TEL0978-24-1115
	松本 忠雄 (大分県木材商業協同組合)	別府市	住宅	(有)緑川工務店 (代)緑川洋次郎 別府市青山町10番16号 TEL0977-23-2793	(有)緑川工務店 (代)緑川洋次郎 別府市青山町10番16号 TEL0977-23-2793
	近藤隆・貴代子 (大分県建築士事務所協会)	大分市	住宅	山道勉建築設計事務所 山道 勉 大分市羽屋9-3 B301 TEL097-546-1565	(株)塩地工務店 (代)塩地 重夫 大分市高松東1-5-28 TEL097-552-1365
	大分県知事 平松 守彦 (大分県森林組合連合会)	津久見市	住宅	東九州設計工務(株) (代)仲摩 和雄 大分市大津町1丁目2-21 TEL097-558-0024	小代築炉工業(株) (代)小代 一幸 津久見市入船西町21-1 TEL0972-82-4155
	佐藤 由光 (大分県建設合同労働組合)	日田市	住宅	Y.O設計 養父 信義 日田市中本町7-41 TEL0973-23-8729	(株)今井工務店 (代)今井 隆記 日田市大字西有田2892 TEL0973-24-6565
	西邑 立子 (大分県木造住宅事業協会)	日田市	住宅	アス力建築総合研究所 楢原 浩郎 日田市清岸寺町1061-3 TEL0973-24-2772	(株)千原工務店 (代)千原誠一郎 日田市亀川町354-6 TEL0973-24-3289
	臼杵市長 後藤 國利 (大分県木材協同組合連合会)	臼杵市	屋内運動場	藤澤建築設計 藤澤 正治 黒川哲朗+(有)デザインリーグ(デザイン) 臼杵市州崎72-250 TEL0972-63-7552	現代建設(株) (代)佐藤 義治 臼杵市市浜京泊 TEL0972-62-3363
	(有)竹巧彩 毛利 健一 (大分県建設組合連合会)	臼杵市	アトリ工	翔設計室 平林 徹哉 臼杵市大字福良2430-2 TEL0972-62-3955	佐藤 寛 臼杵市大字佐志生2993番地 TEL0972-68-3147
	ほり川母屋 衛藤 薫 (大分県職業能力開発協会)	臼杵市	料理店	足立林業(株) (代)足立 泰雄 臼杵市江無田1479-3 TEL0972-62-3409	足立建築 足立 正 臼杵市家野3組941 TEL0972-62-4246
	前津江村長 原田 實 (大分県建設業協会)	前津江村	小学校	梶原一級建築設計事務所 梶原 勝久 日田市刃連町28-28 TEL0973-22-2541	野木建設(株) (代)野木誠一郎 日田市有田町455-1 TEL0973-24-5586
奨励賞	大分県地域づくり機構 大分県住宅供給公社 理事長 相良 浩	武蔵町	住宅	(有)浅野建設 浅野 健治 速見郡日出町大字川崎523-2 TEL0977-72-2336	(有)浅野建設 (代)浅野松治郎 速見郡日出町大字藤原1727番地 TEL0977-72-5960
	大分県地域づくり機構 大分県住宅供給公社 理事長 相良 浩	安岐町	住宅	高本建設(株) (代)高本 幸男 大分市萩原2丁目13番38号 TEL097-552-1585	高本建設(株) (代)高本 幸男 大分市萩原2丁目13番38号 TEL097-552-1585
	釘宮 辰巳 明宏 政枝	大分市	住宅	(有)アトリ工間居 早川 謙一 大分市光吉556-1 3F TEL097-567-1831	其田 勲 大分市大字種具291-1(直営) TEL097-528-1667
	木津 敏博	大分市	住宅	大靖設計工房 後藤 靖二 大分市東浜1丁目1番19号 TEL097-551-1872	執行建設(株) (代)執行 信高 大分市大字横瀬647-609 TEL097-542-1461
	諫山モト工	日田市	住宅	瀬口一級建築士設計事務所 瀬口美智雄 日田市中央2丁目5-12 TEL0973-22-1006	(株)諫山工務所 (代)青柳 寿人 日田市田島1丁目10番21号 TEL0973-22-6141
	西 太一郎	宇佐市	住宅	ネイチャースケープ研究所 山内 英生 宇佐市大字畑田926番地-3 TEL0978-33-3174	西日本土木(株) (代)隈田 照男 豊後高田市大字高田1076番地-6 TEL0978-22-1131
	社会福祉法人長陽会 理事長 御手洗吉生	佐伯市	老人福祉施設	矢野設計室 矢野 加吉郎 佐伯市大字長良4698-6 TEL0972-28-3551	山口建設(株) (代)山口 哲 佐伯市春日町5番31号 TEL0972-22-5001
	三光村長 櫛木晋一郎	三光村	保育園	清永一級建築士事務所 清永 茂樹 三光村大字原口608-2 TEL0979-43-2659	豊建設工業(株) (代)梶原 澄雄 中津市大字是則字元林1306番地 TEL0979-32-7878

第13回まちづくり塾 「田村明の実践まちづくり塾」参加レポート

大分支部
穴井 輔嘉

ま ちづくり塾について

- ・「まちづくり塾」とは社団法人日本建築士連合会まちづくり委員会の主催による、3日間の「まちづくり研修」です。
- ・例年、まちづくりの実績をあげている「地域に出向き」、そこでまちづくりの実践をされている方を「塾長」としてお迎えして合宿形式で研修しています。
- ・今年も、現在の横浜のまちづくりの構想を提案し、実践してきた田村明氏を塾長に10月26日（金）から10月28日（日）の3日間で行われました。
- ・全国から25名参加。昭和14年生まれから昭和54年生まれまで幅広い年代から参加していましたし、職種も設計事務所、建設業、コンサルタント、行政、教育等様々でした。

塾 長（田村明氏）プロフィール

- ・昭和元年（1926）生まれ、現在75歳とは思われなほど背筋が伸び、まち歩きなどの研修にも同行されるほど元気な方でした。
- ・東大建築学科（丹下助教に師事）を卒業後、法律学科に再入学し卒業。更に政治コースを学び運輸省（一年半）、大蔵省、建設省（3日）等の国家公務員試験に合格するものの、権威主義とタテ割りが気に入らなく、日本生命保険相互会社（約9年）と職業の選択・模索を続け、35歳で最後の職業として大学時代の先輩である浅田孝氏が経営する地域計画コンサルタント会社（環境開発センター）に就職。
- ・この時代に地方自治体の長期計画等に携わり、昭和39年（1964）に横浜市の委託を受け、現時の戦略的な事業である6大事業を提案。
- ・昭和43年（1968）横浜市（飛鳥田市長）は提案された6大事業の実施のために、総合的な庁内調整組織として企画調整部を新設し、提案者である田村氏を初代部長として民間から採用。その後、昭和56年（1981）まで横浜市にて企画調整局に勤める。
- ・市民参加、アーバンデザイン、自主的要綱の制定、市民の資金による横浜スタジアムの建設、赤レンガ倉庫やみなとみらい21ランドマークタワーでの石造ドックの保存活用など「金よりも知恵とセンス」を活かしたまちづくりを進めてきた。

- ・しかし、華やかなプロジェクトやアーバンデザインより、宅地開発指導などの土地利用のコントロールに7割のエネルギーをつぎ込んだが、苦勞の割に成果が上がりにくい乱開発の克服に苦心したと振り返る。
- ・横浜市退職後は、法政大学の法学部教授（都市政策）、現在は法政大学名誉教授。
- ・著書は「都市ヨコハマをつくる」「まちづくりの発想」「まちづくりの実践」「美しい都市景観をつくるアーバンデザイン」等まちづくりに関する図書多数。

塾 のカリキュラム

- ・26日（金） 横浜市開港記念会館会議室
 - 1) 塾長講話（14:30～16:30）
 - 2) まちづくり委員と塾長との対話形式の講話（17:00～18:30）
 - 3) 懇親会 中華街（萬来軒 19:00～21:00）
- ・27日（土）横浜・街と建築のデザインウォッチング
案内：横浜市都市計画局都市デザイン室長 国吉 直行 氏
 - 1) ホテルロビー集合（8:30）
 - 2) まち歩きの行程
大通り公園 伊勢佐木モール 馬車道
みなとみらい21新港地区 日本大通
中華街 元町（ここで、元町地区の商店街の代表者とまちづくり質疑） 山手地区
海のみえる丘公園 山下公園 シーバス
みなとみらい21ランドマークタワー（（株）みなとみらい21 代表取締役 若竹 馨氏の説明） 自由散策 野毛町
 - 3) 懇親会 野毛町「村田屋」
- ・28日（日） パシフィコ横浜
 - 1) ゲスト（東京大学助教授 北沢 猛氏）による講義（9:00～10:30）
 - 2) グループ報告（10:30～11:30）
 - 3) 塾長総評（11:30～12:30）
 - 4) 閉会式、修了証書授与（～13:00）

塾の概要

一言で言えば、正直に大変真面目で有意義な塾でした。

ただ、決して生真面目というのではなく、塾長そして参加者の熱意と、真正面から塾長の実績に学ぶという意図が組み込まれたカリキュラムでした。田村氏の実績については、氏の出版物等に拠るとして、自分の目でまちを見て、歩くということが本を読むことでは感じ取れないものを得られたこと、そして現場の実践者からの講義、塾参加者同志の交流と、私が経験したここ数年の研修の中でも特に充実したものでした。

私自身、年齢的にも決して若くはありませんが、仕事柄（まちづくり行政）関係していることで参加をしました。参加費用についても、旅費は自己負担ということでしたが、できれば今後の検討課題として自己負担がいくらかでも軽減できればと思いますし、複数参加も検討してみたらどうかと思います。講義の内容をクドクドと書き連ねても面白くありませんので、簡単なメモを写真、懇親会の様子を報告します。

初日の懇親会：中華街

ここでは、萬来軒の主人から中華街のまちづくりについての講話があり、大陸系と台湾系との華僑対立を乗り越えて中華街のシンボルである関帝廟（三国志の関羽をまつる）を再建したこと。

中華街は一種のテーマパークみたいな街で様々な業種と異国情緒溢れる街であること。中華街の公衆トイレの建築時には中華街に合うデザインにするかわりに地元も中国風瓦等の負担をしたこと、そもそも中華街の街割りは日本の江戸時代末期の開国頃までさかのぼり中華街は外国人居留地にあたること等。料理を前にまちづくり講話をうけました。

最後はグループ毎にグループ名、研修のテーマ等を話し合いながら模造紙にまとめて初日が終わりました。大通り公園「水の広場」に面した伊勢佐木町ワシントンホテルまで夜のまち歩き。

2日目の懇親会：野毛町

2日目の夜の懇親会は、野毛町という昔からの花街に集合し、まち歩きの感想と田村氏他、本部建築士会まちづくり委員の方々を加えての自由懇談となりました。

外では流しのギター弾きや南京玉すだれ、三味線小唄、

落語家など風流な芸人が大道芸を演じる奇妙な店でした。あとから聞くと、実は地区の商店が「まちづくりトラスト」という基金活動を興し、この基金をもとに花街の大衆芸能文化を維持保存するために芸人達を街に呼びこんでいるとのことでした。発想と言い、基金の額（確か数十億とか）には改めてびっくりしました。

まち歩き

まち歩きの内容は詳しくは書きませんが、印象的だったのは開港から明治以降の歴史遺産を大切にしながら、一方で近代的なハイセンスな街が形成されていること。横浜は、開港に伴う新市街地 関内 と旧市街地 関外 とが吉田橋（明治2年英国人ブライトン設計の鑄鉄製）で分かれ、東を外国人居留地、西を日本人居住地としたなごりが今も残っていること。横浜村の住人が移動させられた先が元村で現在の元町となることなど、歴史や文化、自然の多様性を街のあちこちに発見でき、歩いて飽きないまちでした。

また伊勢佐木街、馬車道、元町の商店街での住民主体のまちづくり、シティガイドボランティアという観光客をガイドする市民組織や外人墓地を管理するための市民による募金活動など、まちづくりに参加する市民の意識も高いことなども印象的でした。

講義メモ

- ・都市づくりは新しく常に動いている仕事である。実態にぶつかって一歩でも二歩でも現状を動かして行くことが「非定型流動（創造）型」のまちづくりである。
- ・空間を美しく、個性的で魅力あるまちにしてゆくことが必要であり、そうした空間をつくってゆく仕事がアーバンデザインである。
- ・まちづくりは歴史と自然という素材と人の営みにより造られる。
- ・横浜にはめぐまれた自然がある。
（山手の丘（グラフ）港……）
- ・横浜は歴史を大切にしている。
（横浜認定歴史的建造物……）
- ・横浜のひとがすばらしい。
（シティガイド、元町商店街、野毛街、中華街……）
- ・建築士という専門家である前に一市民であること。
*タコツボ文化ではだめ……
*まちづくりグループ等とのネットワークを……

- ・ 建築士のもつハードな面でのまちづくりの影響を持っている。
 - * 具体的な機会、市民に一番近く関わりうる機会を持っている.....
 - * だから建築士のまちづくりへの関わりを期待.....
- ・ 市民社会を育てることが大事。
 - * 一人一人が大事にされ、意見の違う立場のものをお互いに認め、互いのルールを決めて協働して住む社会（まち）を育てることが大事
- ・ まちづくりには、まちを愛する人がいて、とにかくまちづくりが楽しくないとだめ。
- ・ まちづくりの人は実務の場にあって、仕事のなかで育てゆく。
- ・ まちづくりの実務は物を考えているだけでなく、人との交流の中で行なわれ、それが人を育てる。
- ・ 人は自分の小さい殻に閉じこもらず、自らを開放することによって育つ。
- ・ 実践的まちづくりとしては、具体的なプロジェクト、土地利用と開発コントロール、都市空間を創りだすアーバンデザインの組み合わせが有効である。





大通り公園（昭和53年、進来廉設計）

当初、首都高速道路横浜都心部ルートを高架で建設予定であったものを、6大事業の1つである「都心部強化事業」の中の「緑の軸線構想」に合うようルート変更と地下化を行ない実現した。この時の国、県、市内部、議会、住民等の関係者と企画調整局の田村氏らとの苦労話は、「都市ヨコハマをつくる」に詳しく書かれている。現在、再整備中である。

歩行者空間の整備（ショッピングモール整備）としての先駆け。戦後は長年低迷していたが、街の再生のために地元の商店街が中心となり、横浜市企画調整局の支援を得ながら、アーケードの撤去、電線類の地中化、歩車道段差解消、道路面のタイル舗装、道交法の運用による24時間車両進入禁止等を実現した。



イセザキモール（昭和53、57年 環境技術研究所設計）



馬車道モール（昭和50、51年 高橋志保彦設計）

市民主体の市民法による都市づくりのモデル。「まちづくり憲章」という自主的なまちづくりの基本理念の確認を第一に、物的なデザインはそれを具体化する手段としてその後についていった。商店街のまちづくり協定（壁面後退2.5m、用途制限、色彩制限等）による街並みの継続的な整備システムが成果をあげている。商店街事業と道路事業の合併施工で歩道の整備も行っている。



日本火災海上横浜ビル（大正11年矢部又吉設計 昭和64年日建設計設計）

馬車道商店街のまちづくり協定に沿った保存要望、関内を愛する会、横浜市からの保存要望を受入れて、旧ビルの外壁石材をいったん外し新ビルに再び取りつけた。1階内部に公開空地を設置、これにより横浜市街地環境設計制度による緩和（容積率、高度）を受けている。また、歴史を活かした街づくり要綱により保存事業費用を横浜市が助成している。横浜市認定歴史的建造物、建築業協会賞受賞。



汽車道プロムナード（平成9年）

明治44年に貨物輸送のために敷設された鉄道道路の跡地を歩道として整備。レールを歩道に残したり明治時代の鉄道橋梁を移築保存して活用。桜木町とみなとみらい21新港地区とを結ぶ歩道として通行者が多い。



ナビオス横浜（平成11年 横浜国際船員センター）

汽車道から赤レンガ倉庫へ抜ける歴史の軸空間を確保するため、建築物の下部を凱旋門的なトンネル形状にし赤レンガ倉庫を見通せるようにしている。



3 データファイルの受け渡しをする

1. 媒体・手段

CADで作製したデータファイルを受け渡すときの媒体は、概ね次のようなものがあります。私見ではありますがそれぞれの特徴を挙げてみます。

(1) フロッピーディスク

長 所：操作が容易

短 所：容量が小さい

コメント：FDD(フロッピーディスクドライブ)は殆どのパソコンに搭載されているので容易に受け渡しができます。大きなデータファイルの場合は分割するか、あるいは書庫(圧縮)ファイルを作成しなければなりません。

(2) MO

長 所：操作が容易・容量が大きい

短 所：MOドライブが必要

コメント：MOを利用する場合、授受双方にMOドライブが必要です。一時期注目を浴びましたが広く普及するには至っていないようです。

(3) CD-ROM

長 所：容量が大きい

短 所：譲渡側にCD-RWドライブが必要

コメント：最近のパソコンはCD-RWが標準搭載されていますし、最近では外付のCD-RWも安価になりました。殆どのパソコンにCD-ROMが搭載されているのでお薦めの媒体です。

(4) eメール(電子メール)

長 所：容量制限が無く、即時に送られる。

短 所：通信環境が必要

コメント：インターネットの普及とともにeメールの利用者が増えてきました。昼夜を問わず、瞬時にデータの授受が行えるのが強みです。

2. データファイルの分割・圧縮を行う

データファイルのサイズが大きく、フロッピーディスクに入りきれない場合はファイルを分割するか、あるいは書庫(圧縮)ファイルを作製すると小さくなります。書庫ファイルには「LZH」「ZIP」という拡張子が付いています。

ファイルの分割や書庫(圧縮)ファイルを作製をするソフトウェアはインターネット等でダウンロードができますのでいくつか紹介します。

(1) LHAUT32(分割・圧縮・解凍)フリーウェア

LHUT32(LHAユーティリティ32)は、7段階の固定分割サイズや任意のサイズにも分割することができます。連結用のパッチファイルを自動で作成しますので、どこでもでも連結ができます。また、ファイルの圧縮/解凍機能も内蔵していますのでとても便利です。

LHAユーティリティ32(LHUT32)のダウンロード先

(作者のHP) <http://kazusoft.net/index.html>

なお、LHUT32を使用するには下表に記すDLL(ダイナミックリンクライブラリー)が必要です。

UNLHA32.DLL	LHUT32を使うのに必ず必要です
UNZIP32.DLL	ZIPファイルの解凍に必要です
ZIP32J.DLL	ZIPファイルの圧縮に必要です

上記DLLは、必要に応じて下記のホームページからダウンロードしてください。

全てフリーウェアです。

<http://www.digitalpad.co.jp/takechin/>

(2) Explzh(圧縮・解凍)シェアウェア

エクスプローラの機能を拡張できる圧縮・解凍ソフトです。ウィンドウにドラッグ&ドロップしてファイルを圧縮・解凍できるだけでなく、エクスプローラの右クリックメニューに追加される「書庫作成」や「即時解凍」というメニュー項目を使って、エクスプローラ上で選択したファイルをすぐに圧縮・解凍することができます。

Explzhのダウンロード先(作者のHP)

<http://village.infoweb.ne.jp/fwhv5283/index.htm>

Explzhは試用期間は無料で使用することができますが、継続して使用する場合は、必ず作者から使用ライセンスを購入する必要があります。

ライセンス登録料金 1ライセンス¥1,000円

(3) Lhaca デラックス版(分割・連結)フリーウェア
Lhacaデラックス版は、ファイルの圧縮・解凍・分割・一覧が行えるツールです。

機能は、自己解凍形式作成や、解凍・圧縮時のファイルの一覧、あるいはファイル分割機能がありますし、拡張子の間違ったファイルや自己解凍形式の解凍もできます。

Lhasaのダウンロード先

<http://www.vector.co.jp/soft/dl/win95/util/s0182546.html>

(4) Lhasa (解凍)フリーウェア

LZH/ZIP形式の圧縮ファイルに対応した一発解凍ソフトで、根強い人気を持っています。

LZH/ZIP形式の圧縮ファイルを、「Lhasa」のアイコンにドラッグ&ドロップしたりダブルクリックするだけで素早く解凍できます。インストールも容易で、ダウンロードした「Lhasa」のファイルをダブルクリックするとすぐにインストールが完了し、特に設定の必要がなく初心者にも簡単に使えます。

Lhasaのダウンロード先(作者HP)

<http://www.digitalpad.co.jp/takechin/>

3. ファイルを添付したメール送信の手順

eメールを利用するには、当然のことながらプロバイダに加入するなどしてメールアドレスを取得しなければなりません。

eメールによる添付ファイル送信の手順は、標準的なメールソフトであるOutlook Express(アウトルック エクスプレス)にて説明をします。

- (1) Outlook Expressを起動させます。
- (2) ツールバーの「メールの作成」をクリックします。

【ここから「メッセージの作成モード」に入ります】

- (3) メールを送信先のアドレスを入力します。
このとき、アドレス帳に送信先のアドレスデータがあればアドレス帳から選択します。

- (4) メールの「件名(表題)」を入力します。
- (5) メッセージ(本文)を入力します。

例えば

「データファイルを送信します...」等)

- (6) メニューバーの「挿入」をクリックします。
- (7) メニューの「添付ファイル」をクリックします。
- (8) 送信するデータファイルを選択します。

注1 事前にホルダー等を確認しておくこと。

注2 大きなファイルサイズの場合、書庫ファイルを作成しておくことと経済的です。

- (9) メニューバーの「送信」をクリックします。
【ここで「メッセージの作成モード」から抜けます】
作成したメッセージは「送信トレイ」に置かれます。
- (10) メニューバーの「送受信」をクリックしますとファイルを添付したメールが送信されます。

4. 添付ファイルの取り扱いについて

- (1) ファイルが添付されたメールを受信した場合、メールにゼムクリップのマークが付きます。
- (2) メールを開封しますと、本文欄の下に添付ファイルが表示されます。
- (3) 表示された添付ファイルのアイコンを右クリックしますとメニューが表示されます。
- (4) 添付ファイルをそのまま開く場合はメニューの「開く」をクリックします。
- (5) 添付ファイルを保存する場合は、メニューの「保存」をクリックし、保存するホルダーを指定してファイル名を入力し「Enter」で保存できます。

〔おまけ〕

誤ってごみ箱から削除したファイルを復元できるソフトを紹介します。

ソフト名『復元』フリーウェア

エクスプローラ等でファイル操作をしていると、誤ってファイルを削除してしまうことがあります。この場合、一般的には(初期設定により)「ごみ箱」に入りますが、ミスが重なり、うっかり「ごみ箱」を空にしてしまったことはありませんか。

その様なとき『復元』を利用すれば、消失してしまったファイルを復元させることができます。

このソフトはインストールする必要が無いのでハードディスクを汚さずに済みますし、FDからの起動もできます。

また、大容量ハードディスクにも対応していますし、空きクラスタスキャン及び完全クラスタスキャンの機能がありますので、ルートディレクトリからのパスの痕跡が途絶えてしまったファイルも復元出来ます。

『復元』のダウンロード先

<http://www.vector.co.jp/soft/dl/win95/utjl/s0205338.html>

わたしの建築 MY WORK

建物名称 乙津川桜づつみトイレ
建築場所 大分市大字海原
建築主 大分市
設計者 (株) MCS環境計画
 1級建築士事務所
施工者 菊水工業株式会社
構造・面積 RC造 27.5m²
用途等 公衆用トイレ



静かな住宅地に沿って流れる乙津川沿いの公衆トイレである。建物の位置を挟んで住宅と土手とに分離され、住宅側は日々の生活の場所であるのに対し、川沿いの土手は緑豊富で鳥のさえずりが聞こえ、自然豊かな歩道が続き、人々に安らぎを与えてくれる場所になっている。そのような環境の中の公衆トイレであるため、住宅側からはトイレの入り口である一枚のコンクリートの壁が見えるだけだが、一步土手を上れば半円形の屋根に植栽されたマツバキクを見ることが出来るように工夫を凝らした。

建物名称 S邸
建築場所 大分市下郡北3-6-2
設計者 白石 浩章
施工者 菊本建設株式会社
構造・面積 木造2階建 165m²
用途等 専用住宅



この建物は、大規模な土地区画整理地区内の一角に位置し、周りには比較的新しい住宅地である。北側道路から見る2階のスパンドレルは、黄金比を用いシンメトリーとした。また、1階アプローチ部分では、熱反射ガラスを外壁に使い、この家のシンボルツリーを映し出している。内部は、木・炭・漆喰・漆・柿渋・密ろうワックス等を用い、健康住宅にこだわった。本来、人が住む家は「ハウス」とも「ホーム」？それを考えながら設計した。

わたしの建築 MY WORK

建物名称 白杵市立北中学校屋内運動場増改築工事
建築主 白杵市長 後藤 國利
設計者 藤澤建築設計一級建築士事務所
 1級建築士事務所
施工者 現代建設株式会社 担当 壹岐 浩二
構造・面積 鉄筋コンクリート造2階建
 耐震壁付ラーメン構造
 屋根 木造トラス組工法
 延床 1455.76m²
用途等 体育館



設計者コメント

現在の建築基準で、可能な範囲木造に近いものを提案し、ガラスで覆われた吹き抜けエントランス空間、地場産の太い丸太材を使った木造架構で新しい空間を創ったアリーナ。各部屋の仕上げに柔らかく、温かさのある木の香り漂う板材を殆ど採用しました。これらが、子供たちの感性に訴えかけ、いつまでも記憶に残る学校となる事を願っています。

施工・担当者コメント

これまでの多くの体育館とは異なり、スケルトンログ工法による、木造トラス組の大空間を作るに当たり、木材加工の精度、仮設計画、仮設撤去後のたわみ等未知の部分も、ありましたが細心の注意を払い、無事完成することが出来ました。



建物名称 佐賀関町国民健康保険
 保険福祉総合施設「ひまわり」「しおさい」
建築場所 佐賀関町大字関
建築主 佐賀関町
設計者 平野・古荘一級建築士事務所
施工者 「ひまわり」 株式会社 セキ土建
 「しおさい」 高島建設株式会社
構造・面積 「ひまわり」 RC造 平屋建
 延床面積 1,078.03m²
 「しおさい」 RC造一部木造 平屋建
 延床面積 106.5m²
用途 「ひまわり」総合福祉施設
 老人ディサービス施設
 「しおさい」元気老人ディサービス施設



ホールに關アジ關サバが泳ぐ・・・??

「ひまわり」は介護保険制度施行へ向けて佐賀関町が導入した全国でも類をみない総合保険福祉総合施設です。幼児から高齢者までを包括した福祉介護ができるように、様々な要因を考慮し計画しました。

特にバリアを発生させないユニバーサルデザインのコンセプトを取り入れました。また、施設内での活動目的に応じて部屋の大きさを変えられるように可動間仕切りとし、様々なイベントに対応します。

介護される人と、介護する人の動線や作業の困難さを軽減するための設備等も導入し腰痛などの職業病が発生しない工夫もしました。

また元気な老人を対象としたミニディサービスが出来るように、「しおさい」を隣接しました。

「ひまわり」「しおさい」相互の活動を連結するため、床高で統一した渡り廊下を設置しました。

幼児から高齢者までを対象とした特殊な建築物でのバリアフリーを実現するためには施設利用者や管理者の心のバリアフリーが重要なポイントでした。

設計段階での施主側との協議が整い、多角的な方面から設計施工する事が出来ました。
(T.W)



施設全景



ディサービスの様子

舌 検隊Ⅲ

第2回

竹田の巻

大分支部 宮崎 敏信

連載再開の2回目は豊肥地区ということで“竹田支部”をお願いした。編集委員で市役所の野村氏に依頼し、市内の「オカハチ」と郊外の「命水苑」を選んで頂いた。

11月2日(金曜日)午後、岡城の下を通り、市役所へ。“城”をデザインした外観となっている。野村氏の車に便乗し建築士会事務局に行く。竹田支部長の川野和男氏が出迎えてくれる。小生は20年程前竹田土木事務所に勤務していたので懐かしい。旧市街地はあまり変わっていないが、郊外、特に玉来地区はホテル・スーパー等大型建物が増えて活気づいている。



10分程待つて出来上がる。アツアツの天麩羅とそばを頂く。こくがありなかなかの味だ。

これ以外に人気メニューは、“ごまうどん”や昼定食(500円)がある。



まず、市街地の「そば処・割烹オカハチ」に行く。しやれた外観で入り易い。

カウンターもあるが小座敷に座る。メニューも多い。そばがメインで“天ざる”を注文する。“注文を受けて湯がき始める”ので若干時間はかかる由。そばは自家製で、つゆはコブ・鯉節を使用した手作りのものを作っている。また、水はカルキを加えない湧水を使用している。



“もう1軒ある”ので半分残そうと思っていたが、美味しいので平らげてしまう。この店は「九州百選」にもなっている。竹田に出張の折には是非訪れたい店だ。なお、夜は割烹となり宴会にも利用したい。(竹田支部が良く使っている?) 車なので一杯やりたい気持ちになるが我慢する。

次に、車で10分程の、入田の「命水苑」に行く。竹田は名水でも有名で水道水も美味しいが、湧水はまだ美味しい。苑の直ぐそばに水汲み処(河宇田湧水)がある。連日大勢の人がポリタンクを持参し汲みに来る由。

「命水苑」の周囲には養殖の池があるが、水が澄んでおり、そのまま飲めそうである。さて、池の上に造られた座敷に通された料理が出される。



エノハの南蛮漬け、鱒の洗い・唐揚げ・甘露煮・玉子と出る。アツアツの唐揚げを3人で頬張る。大変申し訳なかったが小生一人が「フルコース」を頂く。洗いはアツサリとしており生臭く無く美味しい。最後のごはんが出される。自家製の紫蘇の実と鱒の身が入っており、これにお茶が掛けられたもので、満腹だったが美味しいので入ってゆく。調理にマイナス電子を利用したり、池の下に備長炭を埋設しておりいろいろと工夫しているようだ。

紫蘇の実とは3年漬けた物を使う等、味に拘っており感心した。これも一杯やりながら頂きたい気分だった。今回は竹田支部に全面的にお世話になり大変有難く思っている。何回も言うが“ゆっくり来て一杯飲みながら賞味したい”思いだった。

また、11月にオープンしたばかりの竹田温泉“花水月”にも入って見たい。



川野支部長さんと

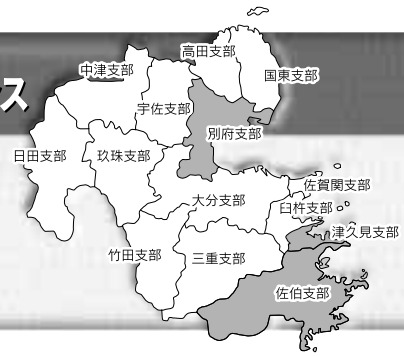
次回は県南を舌検したい。(H.13.11.20)

PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフレンス

個人が他人に及ぼす影響力

会員紹介

(掲載については順不同です)



生年月日 昭和29年10月4日 勤務先 別府市役所

趣味 野球、バレーボール

ひとこと

機械屋として役所に入って20年。コスモピア（別府トキ八店）建設に出向し、縁あって由川先輩に勧められ建築士会に入会しました。仕事は専ら設備関係オンリーですが、士会の行事・祭事には極力参加するよう努めています。

モットー 私のモットーは、「日進月歩」

現状に満足せず、常に上を目指して生きていくこと。たとえば

・もっと一酒を～！ ・もっと一金を～!! ・もっと一女を～!!!



辛山 孝広 (別府支部)

(担当者よりひと言)

別府の「ジュリー」こと辛山さんは、何事にも大変前向きで、頼もしい兄貴的存在です。これからも色々な助言・手助けを頂こうと思っています。ちなみに娘の名前は「じゅり」です。



高野 至 (津久見支部)

生年月日 昭和33年7月24日

勤務先 津久見建設(株)

趣味 パソコン・食べ歩き

将来の夢、モットー等

今まで、土木一筋で仕事をしてきました。津久見の街も昔とずいぶん変わり、伝統と言える物も失われつつあります。そんな津久見市ですが、子供達の未来に今私ができること、文化を大切にする心、安心して住める街作りにたずさわることができたら、幸せだと思います。例えば、安らげる美術館や津久見駅内の書店や憩いの部屋、そんな建物をつくりたい。

生年月日 昭和49年10月13日 勤務先 有限会社 富松建設

趣味 旅行・映画鑑賞

将来の夢、モットー等

大分に戻って三年半程になります。前の事務所では商業施設の内装の仕事をしていたので、こちらに戻ってすぐの頃は木造の事など分からない事だらけで自分でも本当に困ったものでした。その頃に比べると今では少しは成長したのでは??と思っているのですが...

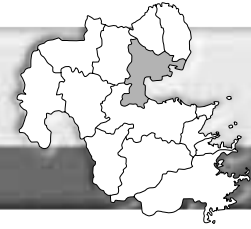
旅行が好きなので色々な所を訪れましたが、一番気に入っているのはモンリオールのオールドモンリオールという旧市街地です。

古い建物がたくさん残っていてとても感じの良い街でした。

まだ叶えていない夢は、スペインに行きガウディの「サグラダファミリア教会」を見ることです。



富松 智佐美 (佐伯支部)



より良い都市空間を求めて

(大分駅南地区 地区計画)

大分市駅周辺総合整備課 専門員 長野 保幸

はじめに

大分駅南地区は区画整理を実施することで、着実に市街地の再編が行われ、街の姿が一新されることとなる。街が生まれ変わり、新しい街並みが一端出来上がってしまえば、当分の間、そのままの姿で残っていくが、この街の姿が一新される絶好の機会に、21世紀の本市の中心市街地に相応しく、魅力的な街並みづくり、すなわち「都市の景観形成」に努めることが重要であり、また、その「計画づくり」が求められていた。

この策定に際しては、そこに住む人たちが協力し、誇りに思える「計画づくり」が必要なことから、住民参加によるまちづくりの方策の一つである「地区計画」を導入し、本年1月10日に用地地域の見直しと共に都市計画法による法的な手続きを行い都市計画決定がなされた。

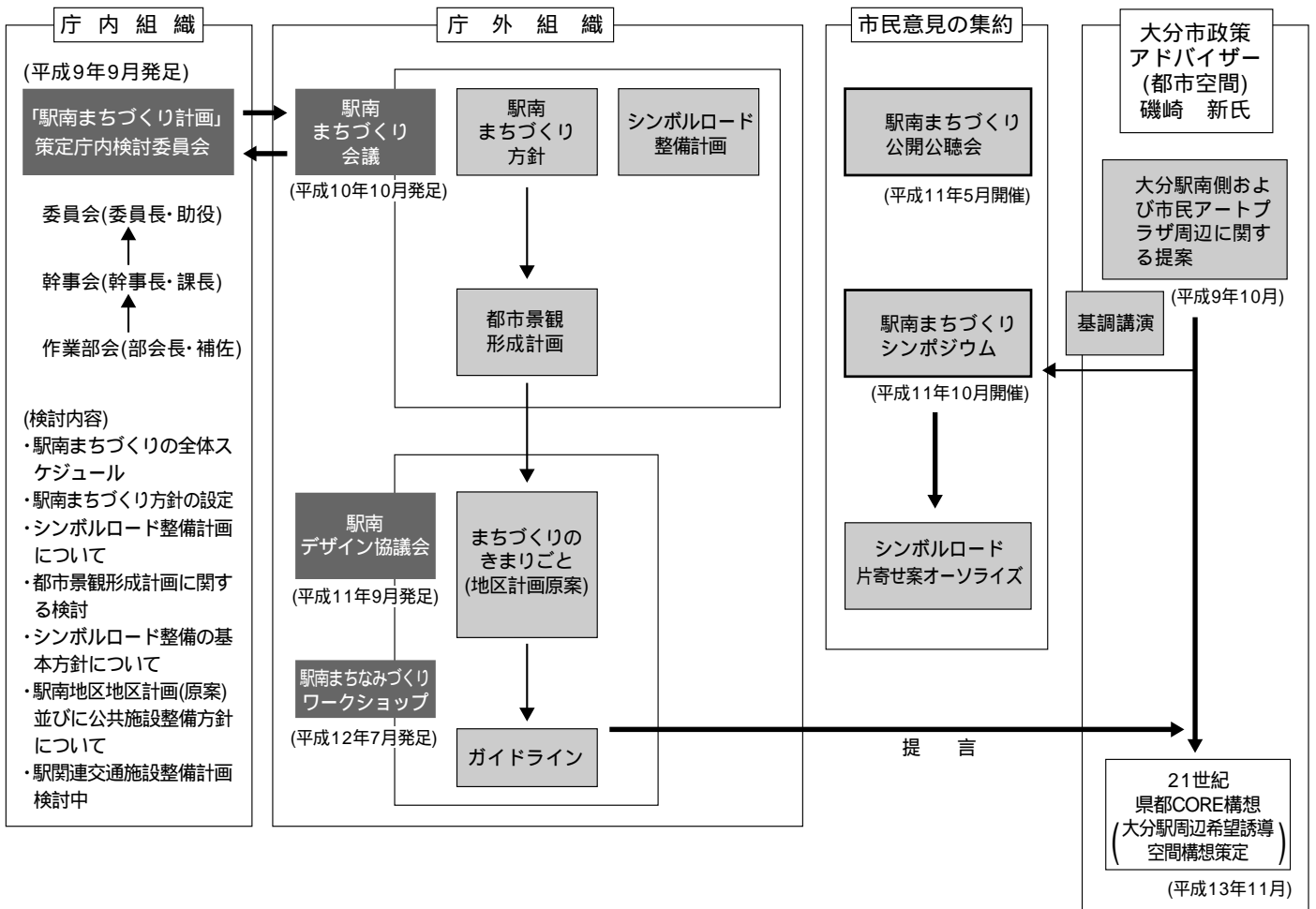
まちづくりの組織と策定の経緯(資料1)

大分市の中心市街地に相応しい景観形成に向けては、市の内部はもとより、広く市民参加による取り組みが必要なことから、平成10年10月に、学識経験者や有識者で組織された「駅南まちづくり会議」、平成11年9月に、地区内の関係者等で組織された「駅南デザイン協議会」を設置し、美しく個性ある街並みの創出を目指した「地区計画」の検討を行った。

また、「駅南デザイン協議会」の委員のみなさんから「我々の街は我々の手で造ろう。」というご意見とともに、まちづくりを検討する手法のひとつである「ワークショップ」のご提案をいただき、広く住民参加の呼びかけが行われた。

この呼びかけにより、区画整理の関係者19名が応募し、平成12年7月に、デザイン協議会のメンバーと併せて「駅南まちなみづくりワークショップ」が発足され、さらに広範な住民参加の中で、取り組みが行われた。

「駅南まちづくり」策定の経緯(資料1)



「大分駅南地区 地区計画」の内容とその効果(資料2)

a 「理念」

街の姿が一新されるこの絶好な機会に、まちづくりの計画づくりに取り組む

b 「目的」

これまで大事にされてきた景観を守り、育てること.....「保全」

多くの人々が共感する景観に取り組むこと.....「共感」

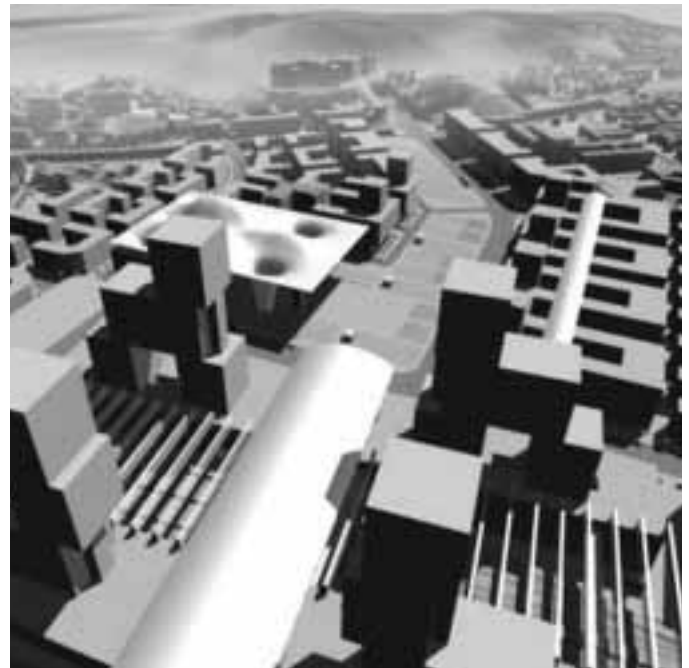
新しいまちづくりに相応しい新しい都市景観を創り出す.....「創造」

c 「規制」と「効果」

この「規制」は、その内容が厳しすぎて関係者に経済的、心理的に負担が大きく、結局なにも実現できない内容では、ルールを定めた意味がなく、過剰な要求にならないよう、しかし、確実に効果が現れるような内容とする必要があることから、以下の規制とした。

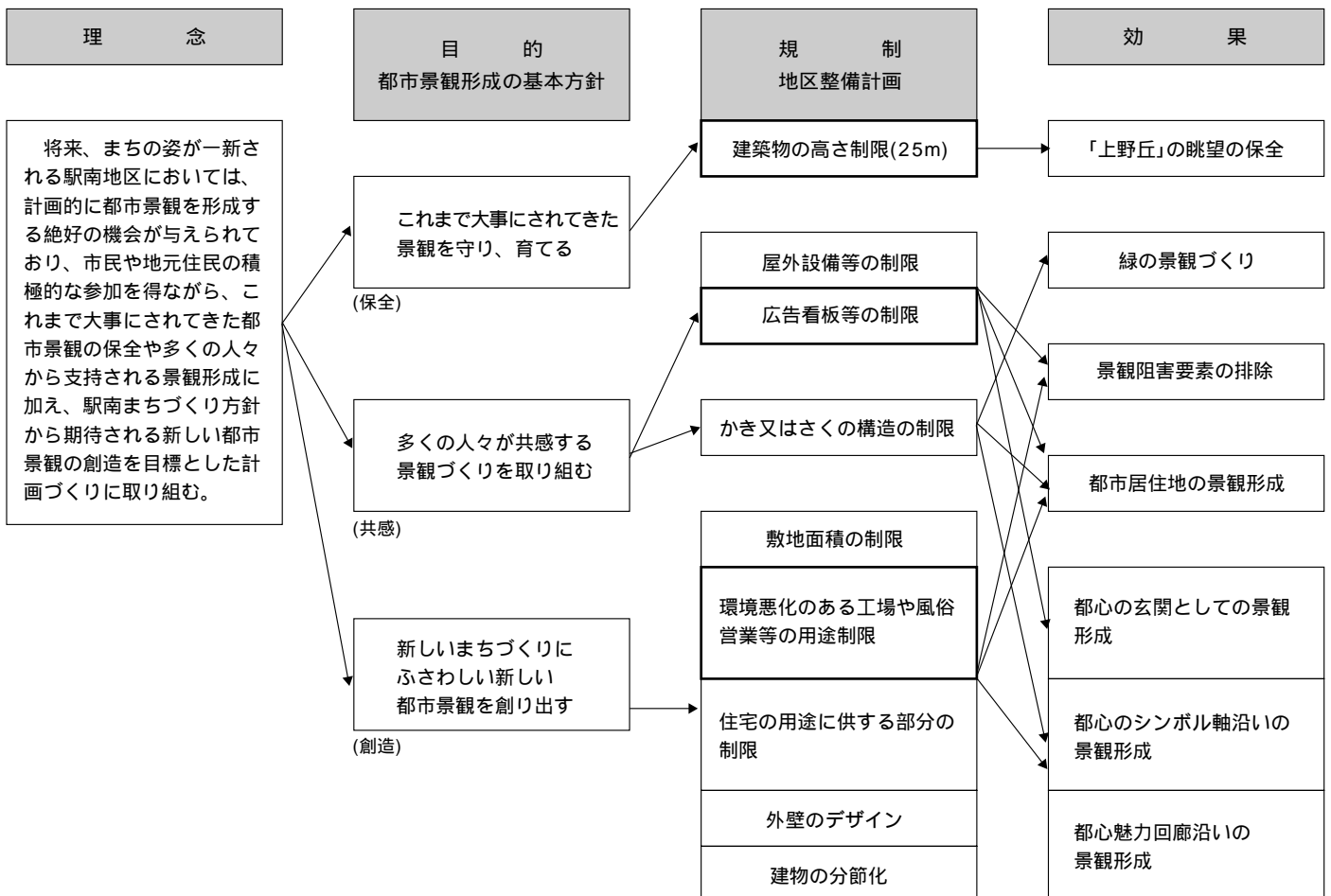
「保全」.....これまで市民に親しまれてきた「上野丘」の眺望を確保する効果を期待して、一部の地域に「建築物の最高の高さを25m以下」とした「建物高さの制限」

「共感」...「誰もが目障りと感じる建築物の屋外設備に囲いを施すこと」や「広告物、看板の大きさ、高さなどの制限」、またさらには、「敷地内に垣根を設置する場合は、生垣にしましょう。」という景観を阻害要素の排除



21世紀県都CORE構想（大分駅周辺希望誘導空間構想）

地区計画制度の規制内容における目的と効果（資料2）



「創造」…折角、区画整理を行い区画形質の変更を行った土地を、また細分化する事は、防災の観点からも相応しくないということから、「建物を建てる際の敷地面積を一定以上とした敷地面積の制限」を設けること

- ・建物の用途の制限として、「環境の悪化の恐れが予想される工場や風俗営業等の用途の制限」
- ・建物等の造り方として、一つはシンボルロードなどの幹線沿いにはにぎわいを演出することを目的に、「一階部分には住宅を設けないこととした制限」
- ・「外壁のデザインや色彩」に工夫を凝らすこと
- ・「建物の低層階と中・高層階との間に腑分けを設ける「建物の分節化」

これらの「規制」を行い、その現れる「効果」によって、駅南のまちづくりの目標が着実に達成されると考えている。

おわりに

以上のように、これまで大分駅周辺のまちづくりは、市民の行政との双方向性を基調に事業を進めており、「駅南まちづくり会議」や「駅南デザイン協議会」等で様々な検討をしていただいた。

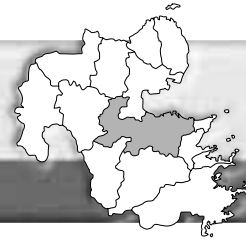
このような中、シンボルロードを始めとした都市空間の形成については、全国的に見ても幾例もない壮大な都市計画であることから、「市民が誇りに思え世界的にも通用する整備方針を速やかに立案する必要があるのではないか。」とのご提言をいただいた。

このような事から、大分らしさを生じた都市空間デザインを表現でき、尚且つ世界的な視野と専門的な知識を有し、本市の都市空間アドバイザーである磯崎新先生にこの構想の策定をお願いし、去る11月13日にその構想の発表を行ったが、その内容については次号に掲載する。

* 地区計画の届出は、大分市役所7F開発指導課に届け出ることとなりますが、詳しい内容のお問い合わせは駅周辺総合整備課(554-5222)までお願いします。



磯崎新氏による県都CORE構想の模型（この模型はアートプラザに展示してあります）。



木と食の祭典

日田では、大きな祭りがある。初夏の「川開き観光祭」、夏の「祇園祭り」、秋の「天領祭り」、日田の三大祭りといわれているものである。天領祭りは、ほかの2つに比べ大変地味な祭りである。毎年、豆田町を中心に西国郡代行列etc...インパクトも薄く人出も少なかった。いつの頃からかこの祭りに合わせ、たくさんの小さな祭りを合体させて集客をはかるようになった。



今年は、中央公園を中心に「木と食の祭典」と名打ち10月20日～21日の2日間、天領祭りに合わせて開催された。会場内「木」のエリアには、日本一の下駄の展示、木工教室、匠の工房実演コーナー等があり、その一角に建築士会および事務所協회가「日田杉を使った健康住宅」



のモデルルーム（洋室・和室）を展示した。それを核にして、坪20万円台のローコスト住宅の提案、会員による作品展示、建築何でも相談コーナーを設け、4班24名で2日にわたり住宅のPRを行った。モデルルームには160万円ほどの経費がかかったようだが、祭り終了後、希望者による抽選を行い、再度建て直してもらうことを条件に20万円で売却した。ただ、モデルルームには、日田木材共同組合から支給の日田杉が使われているのだが、モデルルーム担当のF氏いわく「木材の質が悪くなかった。」とのこと。見れば確かにモデルルームにしてはいいかなものか。日田杉を取り巻く現状が見え隠れしているようで...これ以上のコメントは差し控えよう。（圧力がかかったわけではないよ。悲しくなるから。）



話題を明るい方向に...。(あまり変わらないか。)会場には「食」のエリアもあり、任務を終えた会員が酒の肴を求めふらふらと。(これは失礼、日田の食を探求する目的で?)中には昼というのに顔を真っ赤にして、明らかに担当のコーナーにいたときより生き生きとして、ろれつも回り、「何だこの人は!」と思われる人もいた。「F氏、あなたですよ。一日居たでしょ会場に。もう全く!」といたいのだが、実は私も隙あらば食会場へ思っていた。しかし周りを日田設計会の大御所N設計所長ら大先輩に囲まれ、とてもそんな雰囲気になれる状態ではなく、小さくなっていった。午後の任務が終わったあと、大御所所長から飲みに行こうとの誘いがあり、7名ほどで食会場に移り、1時間の間に一人がビール大ジョッキ4杯、焼酎、カクテル等すごい勢いで飲み、大鮎の炭焼きを肴に会場の他の人の迷惑顧みず楽しい時を過ごした。ほとんど大御所N所長のおごりで大変迷惑をおかけしました。それにくらべF氏、あなた飲み過ぎ。レッドカード!



後日冷静になり今回の土会の催しを考えると、会場が旧体育館の為狭いうえに、出入り口が小さいので人の動きがあまり良くなかった様に思われる。又、住宅相談コーナーの前には花壇があり市民の皆さんが気軽にこられる状態ではなかった。もし来年こういう企画があったら、以上のことを再チェックしてもっと盛り上げて、建築士会日田支部を市民の皆様にご認知してもらわなければならないと思っている。

日田支部 原田 裕史

杉材の掲示板

地元産杉材の良さを、子供達に知ってもらおうと、日田青年林業会議所(木に関連する日田地区の7業種8団体が構成、うち建築士会会員が9名参加)が一役かうことになった。

10月21日、天瀬町立東溪中学校(生徒数159名)の廊下に杉材で造った掲示板を6カ所、ボランティアで取り付けれた。(材料費の一部は学校負担)

当初、東溪中PTA専門部に学校より掲示板設置の要望があった。予算の都合でコンパネで造る計画だったが、父兄から「シックスクールという問題もあるようだし、せっかく造るのに合板ではどうか?」という意見もでてきた。そこで、日田青年会議所に「RC造の校舎に、木材(できれば地元産杉材)で掲示板ができないか?」と提案し検討した。(実は自分もそうであるが、東溪中PTA会長、広報部長も土会日田支部の会員である。)その結果「青年林業会議所の新しい活動にしよう。」ということになり、掲示板の片隅に林業や国産材の資料を子供向けに貼ってもらうという条件で、引き受けた。



掲示板の材料は、杵材をPTAの製材所からの寄付で、そして杉板（木実加工品）を青年林業会議所会員の木工所より提供してもらった。材料の加工は、前青年部長の梶原国廣氏（現在日田青年林業会議所副理事長）の協力を得て行い、現地では組み立てるだけでいいようにした。



当日はあいにくの雨だったが、PTA、先生方の参加協力もあり、スムーズな取付ができた。

11月3日の東溪中文化祭の時に、子供達、先生方、PTAから、「木のおいと、感触が素晴らしい。」とお礼の言葉をいただいた。

日田青年林業会議所では、今後もこの様な活動を通じて、木の素晴らしさをいろいろな人々に伝えていきたいと思っている。



その後、東溪中学校PTA会長の飯田さんよりお礼の言葉をいただいたのでここに掲載させていただきます。

日田支部 鈴木 孝幸

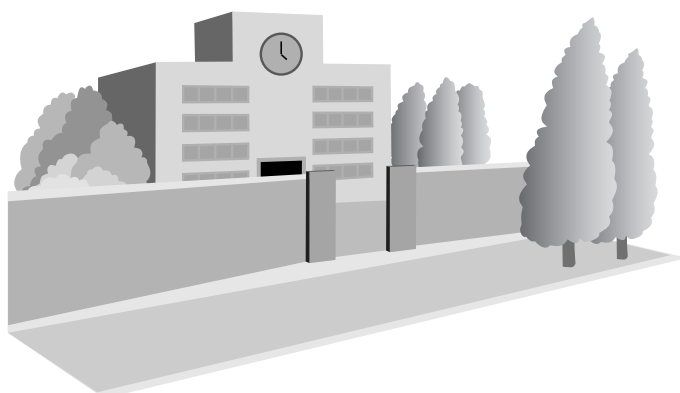
天瀬町立東溪中学校PTA会長 飯田 茂男
築24年目の本校校舎の内容は、建築当時のモルタル塗にVP仕上げです。何年前かに塗装の改修工事は施されましたが、冷やかで殺伐としたイメージは一扫できませんでした。保護者の中からも、このような子供の学習環境の改善を求める声が上がってありました。

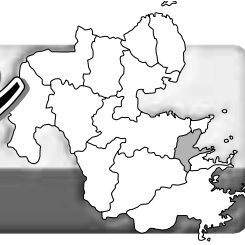
このような折、日田青年林業会議所から、ご好意による木製掲示板寄贈の申し出があり、休日を返上しての作業で校舎内廊下など6カ所にこれを設置して頂きました。

無機質で冷たく固い壁面に取り付けられた温かみのある木製で白木の真新しい掲示板には、思わず心が和みます。これまで無造作にモルタル面に貼られていた生徒の作品や広報紙などの掲示物もこの掲示板に移すと格別な温もりと親しみを感じられるから不思議です。ここに来た誰もが、あらためて「木」という素材の素晴らしさを感じ入るでしょう。

また、日田青年林業会議所の皆さんのご好意と「木材」の素材感が重なって、殺伐としていたこの空間が明るく、いっそう心地よく感じられます。子供達の情操教育、学習意欲向上の観点からも今回のご恵により格段に環境が改善されましたことに対し、本校生徒と保護者一同、心より感謝申し上げている次第です。

日田青年林業会議所は、地場産木材を中心とした地域興しを目指して活動されているとのことですが、今後ますますのご隆盛とご活躍をお祈り申し上げてお礼のご挨拶といたします。





ふるさと振興祭参上

平成13年秋、第19回津久見市ふるさと振興祭に津久見支部が参加し、成功の喜びに終わった事を報告します。

テント内では職人技を生かし、釘も使わない「椅子兼テーブル」の販売と「親子工作体験コーナー」を設営し、屋外では今回の目玉である遊戯「ホーバークラフト」を設営しました（祭り前夜に勝手に場所を取り、設営しちゃった。）「ホーバー」の企画が出たのは酒の席であり、一杯入ると意見はドンドン出て話は盛りに盛り上がり、プールに浮かばせるか？海か？まで企画は進んだ。その時書記は酒も飲まず記録をしていました。（造ってみるか！）数日後準備に入った会員は、創り方に苦笑いの会議となり、インターネットでの調査の運びとなりました。週3回の準備作業が1ヶ月間に渡り、試乗研究の繰り返しを重ね、骨組完成にたどりついたのは祭りの3日前であり、飾り付けが間に合うかの状況でした。

近頃の祭りは乗り物がない事に気づきませんか？祭り後「ホーバー」は各地の幼稚園・保育園で飛び回っています。子供に夢を与える「建築士会津久見支部」を目指し活動して行く事を確認したのです。

最後に支部会員より準備作業場に使用させて頂いた「匠工房（建具製作所）」へのお礼と、その工場の入口に「どこでもドア」（アニメ・ドラえもんにより）が設置されている事を追加して報告を終わります。

津久見支部編集委員





旧坂本家住宅保存修理

(国木田独歩ゆかりの家)

大分県木造建築研究会（略称：木研）主催による旧坂本家保存修理（建物分解）工事の見学会が、9月1日に開催されました。



旧坂本家は、女島沖の州にあった旧藩主、毛利家のお浜御殿（天保10年5月（1890年）沖の州に釣魚島地を定めた。お浜御殿は、藩主が沖の州を訪れた際に使用した建物といわれている。）

明治時代に坂本家が買受け移築したものだといわれています（坂本氏の言では明治3年に移築）。その際、玄関の上に2階を造り、そこに下宿したのが、明治の文豪国木田独歩です。



工事前の全景



平面、立面図



仮設屋根に囲まれた小屋組



独歩も利用した歴史を感じる手摺

佐伯市指定有形文化財に指定されたこの建物は現在一期工事（建物分解）が終了し完成は、二期工事が終る平成14年度です。

佐伯支部 小川 稔浩

数年前からではあるが、時間のあるほんの時折、マニュアル片手に、ワンフィンガーでやるもよし、ツーフィンガーも・・・の状態から変わってない。

メールも、アドレスを知っているのは二人の子供だけ。その子供たちも、忘れた頃開いてみる親には既にあきれきって最近は何も送って来ない。

親も又、それはそれで何も感じては居ない。書類や企画書、広告や原稿は、スタッフが居るから本人がオタオタするより、指示をする方が立派なものが出来上がってくる。それをエラそうに校正する。しかも本業にもソフトボール協会にもボランティア活動にも、それぞれエキスパートが揃っている。こんな悪条件の元では、パソコンをマスターしようとするのに努力してもむくわれないはずである。不幸な立場だ。更に悪いことに、たまに検索するインターネットも早さと広さはあっても、深さや高さはもの足りない情報でしかない。



世に喧伝されるほどのすごさなどどうにも感じられないのは、本人の能力不足なのかも知れないが、「便利」、「早い」などが21世紀の豊かさのキーワードなのだろうか。と言い訳をしておこう。



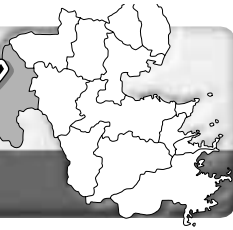
市建設課野村氏を講師に、M組建築係長佐藤氏をアシスタントに、サブスタッフとして美女や怪人たちのインストラクター陣、士会20余名を生徒に文化会館で開講、12時間が始まる。

メールも手とり足とり教えてもらい「行った?」「ついた!」とお隣さんと喜ぶ。ワード、エクセルと短時間ではあるがその機能は到れり尽くせりで、頭の良いキカイだと感動する。「エライ!!」

私たちは勝手にタッチしたり、よこ道にそれたり、いらんことを言ったり、一方に進まなかったり。インストラクターはそれらによく耐え、笑顔は時折しか絶やさず、何度同じことを言わせるのかと言葉には出さない口を形で示し、何はともあれ、無事に全員を卒業させた。メダタシメダシ。おつかれさまでした!ありがとうございました。

竹田支部 シグマデザイン 志賀 克洋





また、昭和初期の写真なども展示中です。当時の界わいの風景をかいま見ることができます。皆さんぜひ一度おとずれて、レトロな気分にあわせてみてはいかがでしょうか。

ただ今「登録文化財」申請中です。

変り種の建築家達を紹介しましょう。大野郡三重町、喫茶店「れと紹」の店主藤田茂樹さんと従業員の皆さんです。

彼等は大正時代の洋館風の建物「旧長田医院」を買いとり、大半を自分達で修復しました。

当初、業者見積を依頼したところ総額7千万円ほどの工事費が呈示されました。懐が寒い上に不景気です。当然、全て業者工事にまかせることはできませんでした。

しかし、藤田さんはあきらめませんでした。屋根の瓦ふき工事で細やかな難しいところだけ業者に頼んで、残りの部分を自分達で修繕しました。

なるべくお金をかけずに創意工夫をこらしています。本当に涙ぐましいものがあります。



外観 裏

内部



外観 正面

内部におしゃれなイタリア風のテーブルとイスを置き、昼は喫茶、夜はレストラン&バーとして平成13年11月22日より開店しています。かわいらしい雰囲気が女性向きだと感じさせます。



天井

お気軽にお問い合わせください

紹とれ

茶房

ちまへみ

番 6200・22 電

朝11 ~ 夜12時



みんなの力を集結し、豊後森駅機関庫を保存しよう!!

保存委員会 事務局 尾方 秀則
(建築士会 玖珠支部)

この度豊後森機関庫保存委員会では、豊後森機関庫の保存に向けての「1万人署名活動」に入りました。保存の声は20数年ほど前からあがっておりましたが、具体的に活動を行うのは今回が初めてです。



豊後森駅機関庫の概要

建築年令 昭和9年11月16日落成 築67年
構造 鉄筋コンクリート平家建
無梁版構造
床面積 1726m²
付属施設 転車台

豊後森機関庫の重要性は下記のとおりです。

現存する扇形機関庫としては、京都市の梅小路機関館と並び規模は日本有数であり、転車台も残る機関庫。米軍の攻撃も受け、戦争体験をした貴重な歴史的機関庫。大分・鳥栖の中継ポイントとして、また宮原線も含めて鉄道の歴史上、重要な位置にあり、玖珠・九重両町にとって、戦争前後を通じ、経済を支えてくれた地域のシンボルでもある機関庫。

全国から機関庫を見学に来る人が後を絶たず、写真家や画家の作品、テレビなどで度々紹介され、沢山の人が魅力を感じる、芸術的建造物としての機関庫。

以上機関庫は、四つの重要な項目に集約されます。この事は文化遺産としての資質を十分そなえ、日本の貴重な鉄道建造物として玖珠九重両町のみならず、今後、県・国にとっても大きな財産となり得ると考えます。

まずは具体的活動として、国の登録有形文化財を目指し「1万人の署名運動」を実施し、機関庫保存はみんなの願いだと、機関庫の所在地である玖珠町にお願い致します。

以上のような保存活動はまちづくりの第1歩でありませぬ。今後の進め方を簡単に述べますと、

第1ステージとして、豊後森機関庫保存委員会がみんなの意志の代弁者として壊さないよう当面保存する事を関係機関に陳情し歴史的価値を訴える。

第2ステージとして、豊後森駅周辺まちづくり会議等を結成し、周辺のまちづくりと関係づけて機関庫を今後どのように再生し活用、運営、管理していくか、みんなが夢を描く。ここでは様々な活動、イベント、募金活動が出てきます。

第3ステージでは、提案された夢を実現するために、様々な事業手法を検討、実施する事になります。

第4ステージは、新しい管理運営機関により、新しい機関庫の維持、管理、運営を実施する事になります。



このような一連の活動を通して、町民は自分たちの町に自信と誇りを持つ事になり、意識改革、活性化の種になると思います。

我々建築士会玖珠支部では、機関庫の現況調査による建物現況図の作成や、この他玖珠町企画課より森街並みづくり事業への支援依頼に対して協力体制を確立させ、街並みづくりへの参加をしています。

今回の機関庫の現況図作成については、玖珠土木事務所原主事の指導のもと、矢野支部長をはじめ出席会員14名で調査及び図面作成を行いました。





趣味を生かした人と自然のコミュニケーション

～「建築士会釣りクラブ」18年目を迎えて～

「IT革命」・「地球環境革命」と言われる、2002年の厳しい年明けを迎え、会員諸氏の苦勞が目に見えるようです。皆様方のご健闘をお祈りします。

当中津支部には業務を離れた「趣味の会」として、釣りクラブを平成6年に結成しています。

釣り場では、お互いに、挨拶を取り交わしましょう。釣り場を独占せず、仲良く釣りを楽しみ、万一事故の場合には、お互いに助け合うこと。

無理を慎み、お互いに協力し、釣り場での海難事故を防止しましょう。

次にくる人の為に、釣り場は清掃し、ごみ・ビン・空缶・弁当殻等は、家に持ち帰りましょう。

船釣りの場合は、船頭の指示を尊重し、決して強行出漁はしないこと。

釣果より安全性を優先し、潮の干満や波浪の状況等を、十分に注意を払うこと。

以上の6項目の「エチケット」を、規約の冒頭に掲げ運営しています。又会員全員を会費より「釣り保険」に団体加入し、万一に備えている。これは家を出て、釣り場（船釣りも含む）へ・釣り場より、家に着くまでの保険で、往復の交通事故も、補償の対象になっている。

又これは「釣りクラブ」結成まえより、建築士会・建築士事務所協会両支部合同の「チャリティ釣り大会」を、毎年一般会員・賛助会員・および同好の一般の方々を交えて行い、その釣果の一部を提供して頂き、社会福祉施設の「市営の老人ホーム」へ寄付しています。平成8年8月に、東京の社団法人「小さな親切運動」本部より実行章の表彰も受けました。なお、出来るだけ「建築士の日」に合わせて、行事の一環として実施しています。しかし、ここ4～5年前より、釣果が上がりにません。原因として海洋汚染・乱獲等もありましょうが、毎年何回か来る、台風が昨年も又今年来てない事も、大なる理由だと考えます。（三重県の水産大学の教授の研究発表）

特に瀬戸内海沿岸や、有明海では、影響を受けやすいのではないかと。台風で海底のヘドロやゴミ等を持ち去り、新鮮なプランクトンが発生それを小魚が食べ、その小魚を狙って中魚が沿岸に来る、弱肉強食のサイクルが「狂っている」のではないかと思われて仕方が有りません。

又当クラブは、規約により年2回総会と、年末に実施する釣り大会で、釣技の向上並びに研究・指導育成を、対象魚毎に行っている。例えば折角の釣果を、上手に食す法迄を専門の調理人を講師に招き、釣り上げてからの魚の絞め方・帰宅するまでのクーラーでの保管の仕方（特に夏場は、いかにして鮮度を保つか）・魚の3枚下ろしの調理の仕方等の、講義を実習付で、マスターしています。

しかし会員には釣り歴50年以上のベテラン会員から、当クラブに入会して、初めて竿を握った人もいるので、大変です。大会を実施する場合、対象魚・釣り場に合わせた、仕掛け作りの指導を和気藹々としている。「趣味」が一緒だけでも、親近感が生じるのに、仕掛けを教え合う事で、本物の親睦が出来ているのが、良くわかりクラブを結成して良かった思います。

釣り大会の時は、規約にある「エチケット」通り、必ずゴミ袋をグループ毎に渡し、釣り場の（船釣りの場合は船毎）美化に努め、僅かながらですが、河川・海洋汚染の防止に役立つようにして居ます。それとクラブが活動することで、建築士会の知名度と存在価値を高めると同時に、自分自身のストレスの解消になればと、考えている次第です。

クラブの正式名称は『中津建築士会釣りクラブ』で、現在の会員数が22名、会費が保険料・通信費を含め年間¥3,000入会時に¥1,000で運営をしています。

中津支部 安部 邦弘





アジアグリーンネットワークによるタイ王国訪問

別府支部：渡辺 誠司

今回私は建築士会の代表として、「アジアグリーンネットワークによるタイ王国訪問」に参加させて頂いた。公私共、大変充実した視察であったが、まずタイ王国における森林事情について述べておきたい。

以前タイは、国土の63%が森林に覆われた緑豊かな国であったが、1960年代からのタイの木材に対する需要の増大に伴い、森林の破壊が急速に進み、40年を経た現在では国土の20%近くまでに森林が減少してしまった。また、それにより、1980年代には大規模な山崩れや洪水といった自然現象が多発するようになり、タイ政府は対処策として、立木の伐採による木材の切り出しを全面的に禁止する措置をとり、現在に至る。

日本は1980年代から、タイの森林分野に対する人材育成や技術協力の支援をしてきた。現地でも、村人たちに植林の意義を啓発し、植林活動への取り組みを果たせた役割は十分に評価されている。このことは、今回の視察でも十分に実感できた。

タイは日本の援助による緑化計画により、着実に恵みのある森林を取り戻しつつあり、また苗畑施設などにも充実ぶりを見せている。

このペースで緑化計画が推し進められ、環境維持と健全な林業活動が近々訪れるのを私は望む。

これからは、日程・工程別の説明とします。

(初 日)

PM0:00 福岡空港発

PM5:00 バンコク空港着

(タイ時間 日本との時差 2時間)

PM6:00 ホテル チェックイン

(タイ)

気 候：国土の大部分は熱帯モンスーン気候

人 口：約6,188万人

民 族：大多数がタイ族

宗 教：ほとんどが仏教徒

PM7:00 夕食(顔合わせ・自己紹介)

アサヒスーパードライが1本900円もするので、ホテルでの飲食には注意)

(2 日 日)

AM8:30 ホテル出発

AM9:30 タイ王国王室林野局到着

タイと日本双方の森林・林業・木材産業及び植樹祭についての意見交換



PM0:50 バンコクよりナコンラチェシマへ向かう。

(途中)

ラ・ム・タコンダム遠望のため停車

PM3:50 マホガニーの造林地見学

PM4:20 プラパート氏の造林地見学



PM6:30 ホテル到着(夕食はREXのメンバーとの交流会)

(3 日 日)

AM9:00 ホテル出発

AM9:15 REX(東北タイ造林普及計画)本部到着

AM9:30 スライドによるプロジェクトの説明

意見交換

1) 日本側出席者による林業経営や

一村一品運動の取り組み紹介

2) タイ側出席者による林業、木材加工

及び木竹炭生産の取り組み紹介

3) 双方の取組みについての質問や意見交換
 (日本での木材に対する需要や要望・
 その他を個人的には考えて臨んだが、
 タイ国においては、林業自体がなりたっ
 ていないので適切な助言と言うのは難
 しかった。)

PM0:30 昼食後、苗畑の見学



REXのメンバーと一緒に記念撮影

PM1:30 REX本部出発

PM4:40 植樹活動現地到着 (記念植樹)



全員で記念撮影

PM5:20 帰路につく。

PM9:50 ホテル到着 (バンコク市内で夕食)
 (大変忙しい1日でした)

(4 日 日)

この日は1日観光地めぐりとなり、いろんな建物(主に寺院)や遺跡を見て廻ることができました。

AM9:00 ホテル出発

(午 前)

・バンコク市内見学

王宮見学 (この王宮は1782年に建設。国王の宮殿、即位式の建物、王室守護寺院のエメラルド仏寺院などのほか、宮内庁や官庁が敷地内に建てられている。)



チャックリー・マハー・プラサート殿前にて

(午 後)

・山田長政の日本人町、アユタヤ遺跡見学



AM0:50 バンコク空港発。帰国の途につく。

AM7:55 福岡空港到着 ロビーにて解散

【アジアグリーンネットワーク推進事業の概要】

2000年に大分県で開催された全国植樹祭を契機として、アジア各国における植樹活動やアジア林業青年との交流を通じて、地球環境の保全と21世紀の森林づくりをめざすもので、今年度から新たに実施することになった。

今回の訪問団は、今年9月に設立された大分県林業青年会議所10名+ボランティア4名の計14名での構成でした。

シリーズ 登録文化財 No.6

京大温研

別府市
渡辺 誠司（別府支部）

京都大学大学院理学研究科附属地球熱学研究施設

名称：京都大学大学院理学研究科
附属地球熱学研究施設

所在地：別府市大字別府字野口原

建築年代：大正12年（1923）

登録：平成9年6月12日 44-0006号

設計者：京都帝国大学営繕課 永瀬狂三

施工者：不詳

構造：煉瓦造一部RC造 地上2階 地下1階

規模：建築面積 512m²
：延べ面積 1,412m²

大正6年に京都帝国大学は地球物理学講座を開き、温泉や地熱研究の場所を探し求めて別府町を訪れた。町の協力により土地の無償提供を受け、建築もまた延面積480余坪のうち216坪は別府町、153坪は大分県の寄付により、工費20万円を費やして大正12年に竣工した。設計は時の営繕課長：永瀬狂三で南面する建物は、正面中央に階段付き玄関を張り出し、塔屋を中心に左右対称に振り分けた外観は均整がとれ、よくまとまっている。

鉄筋コンクリート造の地階は石張り仕上げで、その上に煉瓦をのせ大小の柱形をリズムカルに配置し、上下を白い帯で締めている。柱頭のイオニア式オーダをはじめとする壁面装飾や入口受付の窓口回りや階段親柱など細部に表現派的な意匠を感じさせる建築である。



永瀬 狂三の経歴（1878～1955）

明治10年10月23日に生まれる。明治39年に東京帝国大学建築学科を卒業し、約半年の間、異端の建築家として、今日に名を残す下田菊太郎のもとで働く。その後、明治40年5月に、明治期最大の建築家：辰野金吾と当時大阪の建築界を率いていた片岡安の主宰する辰野・片岡設計事務所に入所し、帝国座の監理にたずさわる。また、明治42年3月から京都大学建築部に勤務することとなり、大正8年には建築部長となる。

京都大学退職後は昭和20年まで京都工学校の校長を勤め、昭和30年に77歳の生涯を閉じる。

彼の活躍した時代は、19世紀末以降登場した新しい建築造型が次第に広まっていき、様式主義的な建築も細部が簡略化されるなど様式が解体されていく時代に当たっている。彼の作品もそうした時代の動きを反映して、大正の後半からは表現派的意匠に接近する傾向を見出さうように思われる。

大分県内の登録有形文化財一覧

	名 称	市 町 村	登録年月日
1	大分銀行赤レンガ館	大 分 市	平成 8.12.20
2	野口病院管理棟	別 府 市	"
3	明治岡本井路 石垣井路	竹 田 市	"
4	若宮井路 笹無田石拱橋	"	"
5	旧緒方村役場	緒 方 町	平成 9. 5. 7
6	京都大学大学院理学研究科附属地球熱学研究施設	別 府 市	平成 9. 6.12
7	小手川酒造 主屋	臼 杵 市	平成 9. 7.15
8	小手川酒造 蔵	"	"
9	野上弥生子成城の家	"	"
10	山海荘 主屋	"	"
11	山海荘 離れ	"	"
12	別府市朝見浄水場 集合井室	別 府 市	平成 9. 9. 3
13	" 配水池	"	"
14	" 配水池北出口	"	"
15	" 配水池南出口	"	"
16	" 量水室	"	"
17	小手川家住宅	臼 杵 市	"
18	中津市歴史民俗資料館(旧小幡記念図書館)	中 津 市	平成 9.12.12
19	旧耶馬溪鉄道平田駅ホーム	耶 馬 溪 町	"
20	萱島酒造 仕込み蔵	国 東 町	平成10. 1.16
21	" 北蔵	"	"
22	" 米蔵	"	"
23	" 門口倉庫	"	"
24	" 旧ムロマエ	"	"
25	" 煙突	"	"
26	" 旧麹室	"	"
27	" 中蔵(搾り場)	"	"
28	" 冷蔵蔵(旧醸造所)	"	"
29	" 井戸屋形	"	"
30	" 裏門	"	"
31	" 木塀	"	"
32	萱島家住宅 主屋	"	"
33	"	"	"
34	両合川橋	院 内 町	平成10. 1.16
35	橋詰水路橋	"	"
36	豊後水道海事博物館(旧水ノ子島灯台吏員退息所)	鶴 見 町	平成10. 4.21
37	渡り鳥館(旧水ノ子島灯台吏員退息所物置所)	"	"
38	豊後水道海事博物館塀(旧水ノ子島灯台吏員退息所塀)	"	"

	名 称	市 町 村	登録年月日
39	別府市児童館（旧別府郵便電話局電話分室）	別 府 市	平成10. 7.23
40	斎藤家住宅	臼 杵 市	平成10. 9. 2
41	太田缶詰工場 主屋	佐 賀 関 町	平成11. 6. 7
42	太田缶詰工場 土蔵	”	”
43	太田缶詰工場 石倉	”	”
44	旧耶馬溪鉄道一号厚ヶ瀬トンネル	三 光 村	平成12. 9.26
45	旧耶馬溪鉄道二号厚ヶ瀬トンネル	三 光 村	”
46	国見ふるさと展示館 資料館（旧有永邸 主屋）	国 見 町	平成12.12. 4
47	国見ふるさと展示館 研修所（旧有永邸 離れ）	”	”
48	国見ふるさと展示館 展示場（旧有永邸 蔵）	”	”
49	国見ふるさと展示館 休憩所（旧有永邸 馬屋）	”	”
50	重光家住宅 主屋	”	”
51	聴潮閣 主屋	別 府 市	平成13. 8.28
52	聴潮閣 洋館	”	”
53	久恒家住宅 正門	中 津 市	”
54	” 客間棟	”	”
55	” 奥座敷	”	”
56	” 居住棟	”	”
57	” 長屋門	”	”
58	” 東蔵	”	”
59	” 西蔵	”	”
60	” 米蔵	”	”
61	久恒家住宅 オンドル部屋	中 津 市	”
62	” 物置	”	”
63	” 給水塔	”	”
64	” 煙突	”	”
65	” 裏門	”	”
66	” 北塀	”	”
67	” 南塀	”	”
68	佐伯海軍航空隊掩体壕	佐 伯 市	”
69	富士屋旅館 主屋	別 府 市	予 定
70	” 前門	”	”
71	” 石段	”	”
72	” 石垣	”	”
73	鷹岩橋	院 内 町	”
74	中島橋	”	”
75	水雲橋	”	”
76	念仏橋	”	”
77	櫛野橋	”	”

平成13年11月現在

変わる 建築士制度



大支部 笠木 忠昭

今、私たちの知らないところで、私たちが生業として
いる建築士制度がゆらぎ、変貌しようとしている。何故
変わらなければならないのか、どういう形が用意されて
いるのか、探ってみようと思う。このスタディの糸口は、
連合会の月刊誌「建築士」にある。昨年の新年号の『輝
く21世紀を展望する』と題された特集記事で、建築関連
五団体の長が、宮本忠長氏の司会により初めて一同に会
し座談会を行った。企画自体画期的であったが、この記
事の中で、今後の建築士のあり方に多くをさかれていた
のを覚えているだろうか。私も復習のため再読してみた。

1. 建築士制度の問題点

国内的には50年の歴史を持つ建築士制度であり、
100万人にも達する建築士が生まれているが、国際的な
面からは、ほかの地域では全く通用しない制度であると
いわれる。

WTO（世界貿易機関：142ヶ国・地域が加盟する国
際貿易の中核機関。戦後の世界経済復興を貿易面から支
えてきたGATTが発展的に解消し、代わって1995年に
発足した多角的貿易自由化を推進することを目的として
創設された国際機関。）でサービス貿易の市場開放の一
環として建築士の資格が議論の俎上に上げられ、それを
受けて建築家団体の世界組織であるUIA（世界建築家連
合）が、建築家の資格と教育に関する基準作りをスタート
させた。それが昨年の北京大会での「建築実務におけ
るプロフェッショナルリズムの国際推奨基準に関するUIA
協定」（以下「UIA協定」とする）として結実した。こ
れは、知的職業人の資格を国際間で議論するときには、
権威ある国際団体の決めた基準を規定にして議論する
というルールがWTOでできていることを受けたものだ。
この「UIA協定」によると、我が国の建築士は国際的な
常識には乗らない制度と言わざるをえない。（村尾（社）
建築家協会会長）

そして、国内的にも消費者に向けての視点が欠けてい
たのではないかと言う懸念がある。消費者に目を向ける
には建築士がその専門域を明確にし、医者のような専攻
制をとるべきではないか。具体的には、これまでは、構
造や設備といった専門分野の責任能力がないのに業務独

占をしてきた。問題が起きてもそれで済んでいたが、自
己責任の時代には、責任を明瞭に問われる。そういう時
代になりつつある。

2. それではどう対処するのか

A) (社) 日本建築士会連合会の場合

建築士会では、現在の建築士法の基本システムは
国際的にみてもしっかりと出来上がっていると判断
し、その上で新しい建築士像の確立のため次の3つ
の基本条件を掲げた。

幅広い基礎的素養

高い専門能力

健全な職業倫理

その実現のために【専攻建築士認定・表示制度】
【専攻建築士更新制度】、【継続的能力開発制度】の
3つの制度提案を行っている。

専攻建築士認定・表示制度とは

専門分化という時代の流れを受けて、各建築士
は、責任を果たすべき自らの専門業務領域を社会
に情報開示する必要があるとする職能者としての
自覚を根拠に提案されたもので、あくまでも建築
士が職能者として襟を正すことによって市民社会
の信頼を得、結果として職能的権威を確立したい
という思いからの発想。

具体的には、一級・二級建築士の国家資格の上
に、統括、構造、設備、生産、行政等、伝統木造、
以上六つのジャンルの専攻建築士を新に創設、認
定することだ。そしてその認定の条件は、『実務実
績審査システム』と『認定講習システム』の2つ
の制度によって行われる。ただし、この2つのシ
ステムの詳細は明示されていない。また認定後は
表示制度として<専攻建築士証>が発行される。

専攻建築士更新制度とは

前述の<専攻建築士証>は、5年毎に更新され、
その更新は、【継続能力開発制度】（実績+継続研
修のポイント）とリンクして行われる。

この制度の実質的な運営は単位士会が中心となっ
た各地域の第三者機関が担うとされている。

継続能力開発制度とは

「実務における能力開発」と「継続研修による能
力開発」の2つの評価基準を設け、定められた内
容によって単位算定を行い、年間50単位、5年
間で250単位を取得して専攻建築士の更新が行わ
れるという仕組み。

以上が建築士会の行おうとしている制度改革の概

要である（『建築資格制度に関する日本建築士会連合会のグランドデザイン』による）。

特徴として、現行の建築士法は尊重される。唯一、士法の中に「専攻建築士を表示できる」旨の規定を新に加えることが要望されている。

また、アーキテクトとエンジニアの関係がこれまで通り曖昧なまま残される。この点を建築士会は、建築士像を生活環境づくりの中心的役割を果たす広義の「技術者集団」として位置づけることによって説明しようとしている。

B) (社) 日本建築家協会 (JIA)

日本人である私が今一つ分からないアーキテクトという概念を標榜しているJIAは、この点において一歩も二歩も進んでいる。

建築家資格制度について、JIAは、教育、実務訓練、試験・登録、そして継続教育の4つの段階によって成立し維持されると考え、特に「UIA協定」の施策事項の一つ上げられているCPD (Continuing Professional Development) = 職能継続研修の試行が一昨年、昨年と2年に渡って行われ、いよいよ今年から正式に実施される状況にある。

JIAにおける資格制度についての基本的認識

- a) プロフェッション(専門職)というものの持っていた権威の失墜に対する危機感とその回復
- b) 情報の開示義務の必要性
- c) 国際的な資格の相互承認に向けて

そしてその答えがCPDであるという。

CPDの説明は後にして、国際的な資格の相互承認についてJIAは、特に強い願望が感じられるので、その辺りを調べる。

建築設計資格の国際化対応について

標記の背景にはAPEC (アジア太平洋経済協力会議: 1989年1月オーストラリアと日本が提唱したアジア太平洋地域の経済協力を目的とした政府間公式協議体) アーキテクトの動きがあるという。それは、平成7年11月の大阪でのAPEC閣僚会議における技術者の域内流動化の決議を受けて、翌年のAPEC人材開発作業部会でオーストラリアがAPECエンジニアの創設を提案し、2000年11月に日本、カナダ、オーストラリアなど7カ国でAPECエンジニア制度が正式にスタートした。今年の3月末には、日本でも一級建築士をベースとする構造エンジニア約400人と技術士をベースとする構造と土木のエンジニア計約1000人が誕生した。

このAPECエンジニアの一応の成功を受けて昨年初めにオーストラリアがAPECアーキテクトの創設を提案し、現在までにニュージーランド、フィリピン、タイ、日本、アメリカ、カナダがこれに参加を表明しているが、以後の動きはない。だが、JIAは、オーストラリアの最初の提案書には「UIA基準」に準拠すると明記されており、内容についての合意が比較的容易だと思われることからAPECアーキテクトも二年くらいで合意されると想定される。(大宇根 弘司)

そしてJIAは、それに乗り遅れまいとしているかのようである。

職能継続研修 CDPについて

JIAは、先ほども述べたように、建築家資格制度について4つの段階をあげているが、CPDは最後の項目の継続教育に位置づけられる。

内容は、プロバイダーが提供する認定研修と自らが学習する自主研修の2種類に分けられ、年間それぞれの必要取得単位数が35となっており、3年間で105単位の認定が義務づけられる。

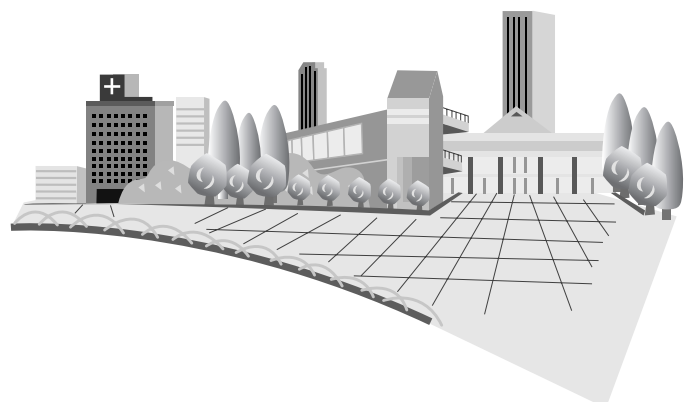
建築士会における【継続能力開発制度】と似た制度であり、同じ建築士としては、一本化が望まれる。また、生涯における自己研鑽という意味で、資格を持つ者として当然行わなければならない学習であるから、建築士全員に義務づけられるべきだと私は思う。

C) 日本建築学会の場合

「UIA協定」やJABEE (日本工学教育認定評議会) の影響もあり、昨年秋には大学の学部4年に大学修士課程2年の専門教育を加えてUIA基準に対応する方向が打ち出され、今年(2001年)は3大学でアクレディテーション(教科認定)の試行を行う。

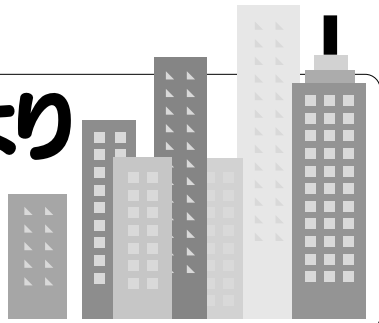
(大宇根 弘司)

以上簡単に現状をお伝えしたが、これもネギやタオルと同様に経済のグローバル化の影響が大きいと考えられる。経済原理に翻弄されることなく、将来に向けて本当にしなければならない事をやって行けば、道を踏み外すことはないと思われるのだが。



行政だより

大分県建築住宅課



大分県建築基準法施行条例第2条に基づく「がけに近接する建築物」の運用基準について

「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」の施行及び平成10年の法改正による建築確認・検査の民間開放に伴い、平成13年3月30日付けで大分県建築基準法施行条例を改正し、条例第2条（がけに近接する建築物）の適用を居室を有する建築物に限って適用することとするとともに、がけ崩れ等から建築物や県民の生命を守ることを目的として、同条第3項に規定する「安全上支障のない場合」についての運用基準を定めました。今回はこの運用基準についてお知らせします。

「がけに近接する建築物」の運用基準

- 第1 条例第2条第3項の規定による安全上支障のない場合は、次の各号の一に該当する場合をいう。
- 一 がけくずれを防止するための必要な措置（擁壁、杭、グランドアンカー、のり面保護等）によって安全上支障の無い場合。
 - 二 地質調査等に関する資格者による地質調査によりがけの崩壊のおそれがない場合。
 - 三 建築物をがけの上に建築しようとする場合にあっては、建築物の基礎（その地盤を改良した場合は、その部分を含む）の底部（基礎ぐいを使用する場合にあっては、当該基礎ぐいの先端）が、がけの下端を含み、かつ、水平面に対し30度の角度をなす面（地質調査によりがけ崩れのおそれのない地層が確認できる場合には当該地層）の下方に達する場合。
 - 四 盛土に生じたがけ面以外のがけ面で次のイ又は口のいずれかに該当する場合。
 - イ 土質が次表左欄に掲げるものに該当し、かつ、土質に応じ勾配が同表中欄の角度以下の場合。
 - ロ 土質が次表左欄に掲げるものに該当し、かつ、土質に応じ勾配が同表中欄の角度を越え同表右欄の角度以下のもので、その下端からの垂直高さが5m以内のもの。

土質	擁壁等を要しない勾配の上限	擁壁等を要する勾配の下限
頁岩又は凝灰岩等の軟岩（風化の著しいものを除く）	60度	80度
風化の著しい岩（砂岩、石灰岩、花崗岩等）	40度	50度
砂利(礫)・真砂土・硬質粘土	35度	45度

- 五 建築物をがけの上に建築しようとする場合はそのがけの上端からの水平距離が、がけの下に建築しようとする場合はそのがけの下端からの水平距離がそれぞれ10メートル以上保たれる場合
- 六 次のいずれかによりがけの崩壊に伴う建築物の敷地への土砂の流入に対して構造計算等により当該建築物の安全性が確保されている場合。
 - イ 土留施設を設置すること。
 - ロ 建築物のがけに面する外壁（がけの下端から水平距離10mの地点を含み水平に対し30度の角度をなす面以下の部分又は当該建築物の1階部分）を開口部のない壁とし、当該部分を鉄筋コンクリート造又は土砂の衝突により破壊される恐れがない構造とすること。

第2 附則

第1の基準については、増築の場合、建築物の既存部分については適用しない。

施行日 平成14年4月1日

「高齢者の居住の安定確保に関する法律」の施行について

「高齢者の居住の安定確保に関する法律」（平成13年法律第26号）が、10月1日より完全施行されましたので、その概要を紹介します。

1. 高齢者円滑入居賃貸住宅の登録・閲覧制度

高齢者世帯は、賃貸住宅の経営者から敬遠される傾向があるため、高齢者の入居を拒まない賃貸住宅を登録し、その情報を提供することにより入居可能な賃貸住宅を探しやすくするとともに、滞納家賃に対する債務保証制度を創設して貸し主の不安の軽減を図るものです。

高齢者の入居を拒否しない賃貸住宅であれば、構造・バリアフリーの状況等に関わらず登録できます。

登録申請.....（財）大分県建築住宅センター
登録手数料... 700円/件（1棟ごとに登録）

閲覧場所.....(財)大分県建築住宅センター
 情報提供.....建築住宅センターホームページ
 (<http://www6.ocn.ne.jp/oita-kj/koureisya.html>)
 県建築住宅課ホームページ上にリンク設定県土
 木事務所建築主管課及び市町村住宅相談窓口
 においてセンターホームページを活用した情報の
 提供を依頼。
 全国情報は、(財)高齢者住宅財団のホームペ
 ージで (<http://koujuuzai.or.jp/>)

登録住宅については、(財)高齢者住宅財団の家賃債
 務保証(最長6ヶ月)を利用することができます。

2. 高齢者向け優良賃貸住宅制度

高齢者向けに整備された賃貸住宅を供給しようと
 する民間事業者に対し、国と地方公共団体が連携し
 て建設費の一部や低所得者に対する家賃減額のため
 の補助を行うものです。

1) 供給計画の認定

事前に知事(大分市内において供給されるも
 のは、大分市長)の認定が必要です。

2) 基準

住宅の規模・構造・設備・加齢対応等の状況、
 入居者・家賃・管理者等の基準があります。

3) 助成措置

県は、の補助を行う市町村(中核市を除く)
 に対して、要する費用の1/4を補助(国が1/
 2補助)することとしています。

従って、実際の補助内容は、の範囲内で、
 市町村が定めることとなります。

建設費補助 民間建設型の場合、共用部分高齢者
 向け設備等の整備費の2/3以内
家賃補助 低所得者(公営住宅入居階層)に
 対する家賃の減額に要する経費
 (収入に応じた限度額)

公庫融資
税制等 所得税・法人税 割増償却
 固定資産税 軽減措置

3. 終身建物賃貸借制度

バリアフリー化された賃貸住宅を高齢者の終身に
 わたって賃貸する事業を行う場合、知事(又は大分
 市長)の認可を受けて、貸借人が死亡したときに終
 了する賃貸契約を締結することができることとされ
 ました。これにより、高齢者は立ち退きの不安から
 解放され、安心して住み続けることができます。

認定を受けるためには、住宅・契約・管理方法な
 どの基準を満たす必要があります。

4. 死亡時一括償還型改良資金融資

高齢者の多くが持ち家に居住しており、バリアフ
 リー改修を必要としています。返済期間の長い融
 資を受けることが困難な状況です。

また、高齢者の多くは資産はあるものの、フロ
 ーの収入は少なく、借入金の返済が大きな負担とな
 ります。

これらの問題を解決するため、高齢者自らが、持
 ち家のバリアフリー改修を行う場合に、生存中は利
 息のみを返済し、死亡時に資産を処分又は相続人が
 一括して返済する制度が創設されました。

現在のところ、融資を行う機関は住宅金融公庫の
 みであり、(財)高齢者住宅財団の債務保証を受け
 ることが条件となっています。

大分県土木建築部建築住宅課 企画調査担当

小規模雑居ビルの防火・避難安全に係る 重点査察の結果について

昨年9月1日に発生した東京都新宿区歌舞伎町におけ
 る雑居ビル火災を契機として、国土交通省よりの依頼を受け
 全国の特定行政庁により小規模雑居ビルの防火・避
 難安全に係る重点査察が行われました。

大分県においても県及び6市の特定行政庁により小規
 模雑居ビルの重点査察を行い、把握した違反事項につい
 て是正指導を行いました。

査察の概要

対象建築物

3階以上の階を風俗営業を営む店舗その他これに
 類する店舗、飲食店等の用途に供する建築物で、
 3階以上の各階の居室の床面積の合計がおおむね
 200㎡以下のもの。

実施主体

大分県、大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市
 及び宇佐市

査察実施期間

9月から10月末までの間

実施結果

対象建築物	建築基準法に係る防火・避難 上の違反が把握されたもの	
77棟	68棟	88%

- ・違反事項については、階段関係が最も多く次いで廊下、
 通路関係であった。
- ・定期報告を要する建築物は8棟であったが、これらの
 建築物は定期報告がなされていなかった。



事務局だより

【行事報告】

サマーセミナーin別府

日時 平成13年9月8日
場所 別府市
参加 200名
概要 テーマ 癒しん街別府へ、きちみらんかい！
「昭和情緒と人情の町別府」
講演会 「癒しのための街づくり」
村松 幸彦氏
・エキスカッション
・支部交流会

第44回建築士会全国大会

日時 平成13年10月5日～7日
場所 宮城県仙台市
参加 36名
概要 記念式典、分科への参加
会議報告

【会議報告】

まちづくり推進協議会

日時 平成13年8月6日
場所 建築士会事務局
出席 8名
概要 平成13年度事業計画について

編集作業

日時 平成13年8月8日
場所 建築士会事務局
出席 4名
概要 「建築士おおいた」No.82の編集作業について

編集作業

日時 平成13年8月20日
場所 建築士会事務局
出席 4名
概要 「建築士おおいた」No.82の編集作業

編集作業

日時 平成13年8月27日
場所 建築士会事務局
出席 3名
概要 「建築士おおいた」No.82の編集作業について

建築士会創立50周年記念実行委員会

日時 平成13年9月27日
場所 コンバルホール
出席 14名
概要 建築士会創立50周年記念事業について

編集会議

日時 平成13年10月17日
場所 コンバルホール
出席 22名
概要 「建築士おおいた」No.83の編集について

まちづくり推進協議会

日時 平成13年10月19日
場所 建築士会事務局
出席 7名
概要 建築士会のまちづくり活動に関する
アンケート結果報告について
今後の計画について

女性部会・大分支部青年部共催 見学会

日時 平成13年10月28日
場所 門司
参加 約20名
概要 建物見学

三役会議

日時 平成13年11月1日
場所 建築士会事務局
出席 6名
概要 支部長・理事合同協議会の議題について

事務所協会・建物士会共催 事務局職員研修会

日時 平成13年11月2日
場所 つるみ荘
出席 10支部 15名
概要 各支部における事務上の問題点について
意見交換会について

まちづくり推進協議会

日 時 平成13年11月26日
場 所 建築士会事務局
出 席 7名
概 要 まちづくり活動助成について

編集作業

日 時 平成13年11月27日
場 所 建築士会事務局
出 席 8名
概 要 「建築士おおいた」No.83の編集作業について

支部長・理事合同協議会

日 時 平成13年11月30日
場 所 別府市「亀の井ホテル」
出 席 38名
概 要 各委員会報告について
青年部会・女性部会の活動状況の
報告について
中間決算報告について

【連 合 会 関 係】

定例理事会

日 時 平成13年9月4日
場 所 東京都
出 席 岩瀬会長

定例理事会・士会長合同会議

日 時 平成13年10月4日
場 所 宮城県仙台市
出 席 岩瀬会長

【九州ブロック会関係】

会長会議

日 時 平成13年11月16日
場 所 佐賀市
出 席 岩瀬会長
事務局職員研修会

日 時 平成13年11月22日
場 所 別府市
出 席 5名

【建築士試験業務関係】

建築士試験業務反省会

日 時 平成13年11月7日
場 所 割烹「百合」
出 席 19名
概 要 平成13年度建築士試験実施結果報告
試験実施にかかる問題点と反省について

建築士試験業務九州ブロック第2回連絡会議

日 時 平成13年12月11日
場 所 福岡市
出 席 岩瀬会長、御手洗事務局長

「ぶんど建築連絡協議会」の設立についてお知らせ

平成13年10月12日、「ぶんど建築連絡協議会」が下記四団体により設立されました。

現在、大分県の建築業界ではいくつかの団体が、それぞれの特徴を活かした活動を行っており、それなりの存在意義が認められています。しかし残念な事に、それらが独自の活動を行い、横の連絡が密に行われていない為、似たような活動を別々に行ったり、対社会的活動も一本化されていません。

このような状況を打開し、横の連絡を密にする場として、また産学官の垣根を取り除いて、自由に勉強していく場として、この協議会が設立されました。

記

社団法人 大分県建築士会
社団法人 大分県建築士事務所協会
社団法人 大分県建設業協会
財団法人 大分県建築住宅センター

～平成13年 1級建築士・2級建築士試験合格おめでとうございます。～

1級
合格者
26名

阿南 英彦 城 恵美 東雲 亜記 三重野純子 牧野 貴士 今村 大治 古庄 真一
 曾我 恵三 小川 季基 安部 敬子 野中 嗣子 中園健太郎 古市 憲司 古市 憲司 古市 憲司
 梶原 育子 西村 友吾 衛藤 善律 花戸 敏行 板井 義隆 相川 正美 相川 正美 相川 正美
 恒吉 俊久 川野 雄二 常廣 竜也 山本 康代 原田 浩臣 伊達 雅好 伊達 雅好 伊達 雅好

2級
合格者
116名

丸口 春樹 高橋 大介 渡邊 弘治 山崎 邦規 豊永小百合 藤澤 俊輔 佐々木 寛
 石井 聖子 沢熊 祐子 今井 絢子 石橋 春明 梶原 隆行 大野 隆光 安藤 元巳
 山村 靖人 多田 正信 小平 浩子 後藤いづみ 安田 正純 佐藤 律史 若林 将生
 鍛冶谷 章 笠木 崇史 田中 宏典 後藤 ふみ 宇野 貴典 木城 裕二 糸永 邦章
 興田 昌英 川野 健太 首藤 敦史 種村 陵 中下 浩平 麻生陽一郎 木村 喬
 下原久美子 古荘 智美 川中 利典 田原 庸大 橋本 大介 後藤 聖和 牛島 成幸
 上保 裕典 梶原 宏一 古長 雅 吉田 猛 阿南 敬三 大鍛冶江美 長尾 学
 田丸 葉子 平早水大三 松本 大輔 堀 健治 河野 純二 平松 大輔 財津 紀敏
 千原 仁 武田 茂 甲斐 健二 十時しのぶ 工藤 健治 小手川孝典 東野 由美
 原田 由依 緒方 艶実 植田 高夫 庄司 麻菜 堂 淳司 武藤 高志 川邊 伴成
 安藤かんな 後藤 孝行 三田尻恵里 矢原壽美恵 利根 裕美 伊藤 英治 山 晋也
 中西 佳一 真弓 弘之 安東 賢俊 難波 恵 佐藤 昭生 首藤 順 鷹居 裕助
 河野 大吉 菊田興太郎 山村 友哉 工藤 貴寛 須賀 健太 渡邊 基光 長瀬 勝馬
 重末 聖子 角野 康介 関谷 貴士 後藤 朋基 油布 純一 大村 正壽 内立 隆司
 榎本 建一 吉岡 雅也 木下 卓司 川野 好正 垣原 宏美 吉岡 俊雄 利光 祐

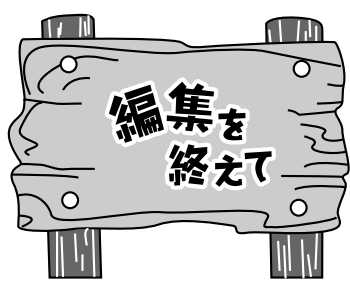
新 会 員 紹 介 (H.13年 8月入会から12月入会)

支 部	氏 名	生年	級別	登録番号	〒	住 所	電 話	勤務先(電話)
別 府	三ヶ尻一雄	S31	2	4687	874-0947	別府市浜脇3丁目5-32	(0977) 22-3576	(有)三ヶ尻工務店 (0977) 22-3576
"	青田 秀俊	S31	2	和歌山 5237	879-1504	日出町大神3939-1	(0977) 72-8704	自営
大 分	牛島 初信	S37	1	253058	870-0839	大分市金池町1丁目4-3-1642	(097) 514-1698	九州電力(株)大分支店 (097) 536-4121
"	後藤 洋一	S26	1	107687	870-0874	大分市にじが丘1-19-4	(097) 545-2435	成瀬建築設計事務所 (097) 552-8520
"	辻 敦子	S52	2	福岡県 25732	870-1123	大分市寒田328-3	(097) 569-6771	(株)九建設計 (097) 586-0088
"	阿南 利和	S37	1	272912	879-7762	大分市けやき台2-6-2	(097) 597-7145	梅林建設(株) (097) 534-4151
"	赤峰 秀樹	S47	1	294050	870-0856	大分市畑中8-10-3-506	(097) 545-9717	大分県土木建築部施設整備課 (097) 536-1111
"	西村 友吾	S49	準	-	870-0875	大分市青葉台1丁目2-2	(097) 544-8640	(有)石井建築研究所 (097) 535-1871
"	林田 訓	S45	1	300155	870-0819	大分市王子新町2-24	(097) 544-4945	梅林建設(株) (097) 534-4151
"	茅嶋 昭典	S43	1	273158	814-0161	福岡市早良区飯倉2-9-5-705	(092) 846-2717	梅林建設(株) (097) 712-9111
"	戸高 禮子	S31	準	-	870-0023	大分市長浜町1-9-15-303	(097) 573-8622	B r a b e e (097) 573-8622
"	城全 統一	S26	1	237462	870-0864	大分市大字国分1012番地	(097) 549-3612	城全設計事務所 (097) 549-3612
佐賀関	山田 悠二	S22	2	2710	879-2201	北海道都佐賀関町大字関1158番地	(097) 575-2173	山田デザイン工房 (097) 575-2173
白 杵	江口 大輔	S49	準	-	875-0061	白杵市大字前田850-2県職員住宅9号	(090) 4643-7192	大分県白杵土木事務所 (0972) 63-4136
佐 伯	広津留憲吾	S27	準	-	876-1203	南海部郡鶴見町大字沖松浦1037-1	(0972) 33-0721	(有)広津留塗装 (0972) 33-0721
"	後藤 堅	S45	2	6040	876-1511	佐伯市大字長良1974-1	(0972) 23-8783	(有)後藤公建築 (0972) 23-6694
"	石田 寿男	S19	準	-	876-0844	佐伯市向島2丁目15番25号	(0972) 23-8390	アイエス不動産(有) (0972) 23-3222
"	柴田 利花	S44	2	6431	876-0011	佐伯市大字鶴望4945	(0972) 23-6876	(有)柴田建築二級建築士事務所 (0972) 23-6876
日 田	森下 精一	S30	1	194848	877-0074	日田市大字庄手629-2	(0973) 22-6046	森下工務店 (0973) 22-6046
中 津	田代 幸一	S34	1	230264	871-0006	中津市東浜695-2	(0979) 23-8435	田代積算事務所 (0979) 23-8436
"	高村恵美子	S38	2	6877	871-0028	中津市角木町45-7	(0979) 22-4512	旭硝子西日本建材(株) (0979) 23-8822
"	三雲恵美子	S31	2	5883	871-0005	中津市大字台馬419-2	(0979) 24-3636	(有)みくも設計 (0979) 24-3636
"	太田 長利	S40	2	6049	871-0024	中津市中央町1-8-41	(0979) 23-0459	東九ハウジング(株) (0979) 32-7400

高尾道路開通
臼杵でふりかけ
津久見まで
（おまめ）

今年こそは「ホームページ」
をつくるぞ T.O

風邪をひけしよいた
S.K



さむい.SH

今年のお祝い
うせんでした。
申（寂しいですね、T.K

新人編集委員です。
よろしくお願ひしませう。
今年はスローテン & 24ハッシュでせめて可なり。
Etsu

どうもです。今後よろしくお願いします。T.N

広報委員会
担当副会長
担当常務理事
委員長
副委員長
委員

竹田 松 井 基 泰
大分 宮 崎 俊 信
大分 宮 崎 隆 博
竹田 川 野 和 男
国東 清 末 和 哉
別府 原 精一郎
大分 牛 嶋 義 文
臼杵 笠 木 忠 昭
佐伯 風 戸 彰
三重 岡 部 達 巳
中津 是 本 正 昭

編集委員

編集長 臼杵 笠 木 忠 昭
副編集長 国東 寺 川 義 昭
" 大分 今 田 和 徳
" 竹田 野 村 忠
編集委員 高田 成 重 憲
" 別府 塩 出 清 治
" 大分 中 園 幸 治
" 大分 佐 藤 安 典
" 大分 坪 井 敬 行
" 大分 飯 倉 尚 之
" 大分 安 藤 幸 子
編集委員 大分 久 野 雅 子
" 佐賀 佐々木 浩
" 臼杵 佐々木 仁 志
" 臼杵 久 野 悦 子
" 津久見 濱 野 一 明
" 佐伯 小 川 稔 浩
" 三重 後 藤 泰 仁
" 三重 川 崎 秀 二
" 玖珠 後 藤 喜 美 男
" 日田 武 内 淳 一
" 中津 山 村 増 治
" 宇佐 椋 田 康 一

建築士大分

2002.1 No.83

(非売品)

平成13年12月25日 印刷

編集 / 発行所

平成14年 1月 1日 発行

社団法人

大分県建築士会

大分市大手町2丁目2-7田原ビル2F

TEL 097 - 532 - 6607

FAX 097 - 532 - 6635

印刷所 / いづみ印刷株式会社 大分市大字下郡字丁畑3119-1 TEL (097) 569-3741